

令和5年度 一般会計決算附属資料

健康長寿福祉部 主要な施策の成果

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,079千円		1,084千円	5千円	99.5 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額		
	事業	02 行旅死亡人等取扱事務						1,021千円	課
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府負 行旅死亡人取扱費負担金 465千円				
目的	市内において、旅行中に死亡し身元の分からない方や、市内で死亡し引取者のない方に対し、行旅病人及行旅死亡人取扱法又は墓地、埋葬等に関する法律に基づき縁故者に代わって援助措置を行う。		諸収入 行旅死亡人等遺留金 400千円						
主要な事務・事業の概要	○「行旅病人及行旅死亡人取扱法」に基づくもの		204千円		○「墓地、埋葬等に関する法律」に基づくもの 875千円				
	京丹後市内において死亡した身元の分からない方に対し、行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき、市が取り扱うことが規定されている。 該当者（3体）について、葬祭・火葬を行い、官報公告を掲載した。				京丹後市内で死亡した方に、葬祭、埋葬をする者がいない又は判明しなかったため、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、死亡地の市町村がこれを行わなければならない。 該当者（6体）について、葬祭、火葬を行った。				
	・遺骨保管謝金 90千円				・消耗品費（棺、骨箱等） 381千円				
	・消耗品費（棺、骨箱等） 16千円				・遺体処置料 72千円				
	・火葬料 12千円				・遺体搬送料 75千円				
	・官報掲載料 20千円				・火葬料 90千円				
	・死体検案書作成手数料 66千円				・死体検案書作成手数料 191千円				
					・霊安室使用料 66千円				
					成果・課題	行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。			

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,573千円		1,575千円	2千円	99.8 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	03 ぐらしの資金貸付事業					1,179千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	諸収入 ぐらしの資金貸付金元金収入 617千円				
目的		一時的に生活の不安定な低所得世帯、又は債務整理による生活再建に際し一時的に生活が困窮している世帯に対し、ぐらしのために緊急に必要とする資金の貸付けを行い、世帯の自立を助長し、生活の安定を支援する。			諸収入 ぐらしの資金貸付金元金収入滞納繰越分 20千円				
主要な事務・事業の概要	〇ぐらしの資金貸付金 1,420千円								
	貸付を希望する一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、面談による状況聴取を行い、申請を受け付けて貸付審査会の審査を経て資金の貸付を行った。								
	《貸付実績》								
		令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	申請件数	2件	3件	6件	13件	17件			
貸付件数	1件	3件	4件	6件	14件				
貸付金額	45千円	300千円	310千円	550千円	1,420千円				
〇貸付金管理台帳システム委託料（保守）				129千円					
〇需用費（消耗品費、印刷製本費）				24千円					
				成果・課題	〇一時的に生活が不安定になった低所得者世帯に対し、緊急的な貸付支援を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 〇収入や一時的な困窮などの対象要件に合致しない相談者には、他の支援につないだ。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																									
	項	01 社会福祉費	22,080千円		22,335千円	255千円	98.8 %		課	生活福祉課																								
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額																											
	事業	05 民生児童委員活動事業					22,728千円																											
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金				12,020千円																								
目的	民生委員・児童委員の活動を支援するため、費用弁償等の活動費、地域福祉活動促進費等の補助金を交付し、委員活動の充実を図る。				府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金				72千円																								
					府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金				1,018千円																								
主要な事務・事業の概要	○研修会等経費			339千円		○民生委員・児童委員活動費補助金					21,741千円																							
	・旅費			5千円		<table><tr><td></td><td>委員数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>41人</td><td>4,439千円</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>31人</td><td>3,356千円</td></tr><tr><td>網野町</td><td>45人</td><td>4,850千円</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>26人</td><td>2,857千円</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>19人</td><td>2,123千円</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>38人</td><td>4,116千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>200人</td><td>21,741千円</td></tr></table> ※3か月（6～8月）1人欠員 ※1か月（4月）1人欠員 ※委員の任期：令和4年12月1日～令和7年11月30日						委員数	補助金額	峰山町	41人	4,439千円	大宮町	31人	3,356千円	網野町	45人	4,850千円	丹後町	26人	2,857千円	弥栄町	19人	2,123千円	久美浜町	38人	4,116千円	合計	200人	21,741千円
		委員数	補助金額																															
	峰山町	41人	4,439千円																															
	大宮町	31人	3,356千円																															
	網野町	45人	4,850千円																															
	丹後町	26人	2,857千円																															
	弥栄町	19人	2,123千円																															
	久美浜町	38人	4,116千円																															
	合計	200人	21,741千円																															
・有料道路通行料			5千円																															
・バス運転委託料			97千円																															
・消耗品費			3千円																															
・燃料費（マイクロバス、公用車）			24千円																															
・バス借上料（全員研修会、各種研修会）			165千円																															
・会場借上料			32千円																															
・冷暖房借上料			5千円																															
・機械器具借上料			3千円																															
■市民生児童委員協議会実施研修会（全員研修会）			日付：令和5年10月14日 場所：峰山総合福祉センター 参加者数：166人																															
日付：令和5年10月14日 場所：峰山総合福祉センター																																		
参加者数：166人																																		
■単位民生児童委員協議会実施研修会等			<table><tr><td>町域</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td></tr><tr><td>回数</td><td>10回</td><td>6回</td><td>10回</td><td>6回</td><td>6回</td><td>6回</td></tr></table>								町域	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	回数	10回	6回	10回	6回	6回	6回										
町域	峰山町	大宮町									網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町																				
回数	10回	6回	10回	6回	6回	6回																												
町域			峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町																										
回数			10回	6回	10回	6回	6回	6回																										
■その他			主任児童委員研修会、中堅リーダー研修会、代表者研修会等への参加																															
主任児童委員研修会、中堅リーダー研修会、代表者研修会等への参加																																		
成果・課題			○民生児童委員活動に補助金を交付し、活動を支援した。 ○全員研修会を実施し、民生児童委員の資質向上を図った。 ○複雑なケースが増加する中、民生児童委員に求められる知識は非常に幅広くなっているため、今後も研修や委員同士の交流を充実していく。																															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	757千円		873千円	116千円	86.7 %		課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額			
	事業	06 戦没者追悼事業					873千円			
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補 援護事務交付金（10/10） 63千円					
目的	戦没者を追悼し、遺族を感謝激励するとともに、平和を祈念する。 また、戦没者等の遺族に対する第十一回特別弔慰金の事務を行う。									
主要な事務・事業の概要	○京都府戦没者追悼式（参列者数：65人） 開催日：令和5年10月19日 場 所：国立京都国際会館（京都市） ・旅費（随行職員旅費）			3千円	○戦没者等の遺族に対する特別弔慰金受付事務経費 基 準 日：令和2年4月1日 請 求 期 間：令和2年4月1日～令和5年3月31日 受 付 人 数：958人（令和5年3月31日時点） 額 面：25万円（5年償還の記名国債）					4千円
	○京丹後市戦没者追悼式（参列者数：211人） 開催日：令和5年11月7日 場 所：京都府丹後文化会館 ・需用費（祭壇、燃料費） ・役務費（クリーニング代ほか） ・委託料（送迎用マイクロバス運転委託料） ・使用料及び賃借料（送迎バス借上料、会場借上料）			691千円 271千円 43千円 32千円 345千円	・通知書等郵送料（国債発行までに申請から約7か月） 令和5年度国債発行案内送付数 42人					4千円
					○その他（援護事務に係る経費） ・需用費（消耗品費）					59千円 59千円
					成果・課題	○戦没者を追悼し、遺族を感謝激励するとともに、世界の恒久平和を願うことができた。 ○戦後79年が経過し、いかに戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを語り継いでいくのかが、大きな課題となっている。 ○戦没者遺族の高齢化に伴い、戦没者追悼式の参列者が減少していることから、開催内容等について、検討する必要がある。 ○戦没者等の遺族に対する第十一回特別弔慰金について、裁定通知のあった方へ国債を交付するための案内を送付した。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	68,238千円	68,238千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	08 社会福祉協議会運営費助成事業				68,238千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源				
目的		京丹後市社会福祉協議会の事務職員の人件費補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、地域福祉活動の充実を図る。						
主要な事務・事業の概要	○社会福祉協議会運営費補助金			68,238千円				
	※社会福祉協議会の事務職員の人件費（補助対象職員：17人）							
		補助対象職員数	補助金					
	H30	19人	67,500千円					
	R元	19人	66,840千円					
	R2	17人	71,264千円					
	R3	17人	65,265千円					
	R4	18人	69,674千円					
	R5	17人	68,238千円					
	社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進」を目的とする社会福祉法人。市が策定した「地域福祉計画」と密接な関連を持ち、福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取組を進めている。							
成果・課題	社会福祉協議会本所及び6支所の事務職員人件費の補助を行うことで、協議会の円滑な運営に寄与するとともに、地域福祉活動の充実を図ることができた。							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	650千円		650千円	0千円	100.0 %				
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課		
	事業	09 災害見舞金等事業					400千円				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源							
目的		災害（風水害・火災等）により被災された市民に対し、見舞金・弔慰金を支給する。									
主要な事務・事業の概要	○災害見舞金				150千円		○令和6年能登半島地震被災者見舞金			200千円	
	・火災によるもの：3件										
			全 焼		部分焼						
			件数	見舞金	件数	見舞金					
住 家		3件	150千円	0件	0千円						
非 住 家		0件	0千円	0件	0千円						
○災害弔慰金				300千円							
・火災による世帯主の死亡：1件（300千円）											
成果・課題		○建物火災のより死亡された方のご家族に対し、災害弔慰金を支給した。 ○京丹後市災害見舞金等支給要綱及び令和6年能登半島地震被災者見舞金支給要綱の規定に基づき、災害見舞金等を支給することで、被災者の生活を支援することができた。									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	21千円		21千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	10 地域再建被災者住宅等支援事業					24千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補 地域再建被災者住宅等利子補給補助金（10/10） 21千円				
目的	平成29年台風18号により、住宅が一部損壊・床上浸水の被害を受けた市民が行う被災住宅の再建等に対し、府の補助制度を活用した支援を行う。								
主要な事務・事業の概要	○地域再建被災者住宅等利子補給補助金 1件 21千円 被災住宅の再建等に要する住宅金融支援機構の災害復興融資（建設・改良資金の借入れ）の利子を支援 ※平成29年台風18号災害分は、令和5年度が最終年度				成果・課題	平成29年台風18号災害で床上浸水の被害を受けた住宅を再建するために補助金を交付し、被災住宅の復旧を支援することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	329千円		370千円	41千円	88.9 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	11 健康と福祉のまちづくり審議会事業					530千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	「第9期高齢者保健福祉計画」、「第4次障害者計画及び第7期障害福祉計画」について、健康と福祉のまちづくり審議会を設置し、調査研究・審議を行うもの。								
主要な事務・事業の概要	○健康と福祉のまちづくり審議会経費				329千円				
	・審議会委員報酬（4千円×延べ74人）				296千円				
	・費用弁償				29千円				
	・消耗品費（ファイル）				4千円				
	＜健康と福祉のまちづくり審議会＞								
	委員数：14人								
	委員任期：令和5年5月23日～令和6年5月22日								
	諮問内容：第9期京丹後市高齢者保健福祉計画の策定について								
	第4次京丹後市障害者計画及び第7期京丹後市障害福祉計画								
	の策定について								
	審議会：2回開催								
	部会：高齢者福祉部会 5回開催								
	障害者福祉部会 6回開催								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費	15,523千円		15,963千円	440千円	97.2 %																				
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																		
	事業	12 峰山総合福祉センター-管理事業					15,044千円																				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進	主な財源	使用料	峰山総合福祉センター使用料				421千円																		
				使用料	公有財産使用料				43千円																		
目的	福祉事務所としての峰山総合福祉センターの維持管理のほか、市民や各種団体に会議・イベント等で幅広く活用していただけるよう設備機能を維持管理する。																										
主要な事務・事業の概要	○峰山総合福祉センター維持管理経費		15,523千円		[参考]																						
	・消耗品費（清掃・衛生消耗品、蛍光灯ほか）		169千円		峰山総合福祉センター利用実績（R5年度受付分）																						
	・燃料費（冷暖房用灯油代）		1,898千円		<table><tr><td></td><td>利用件数</td><td>利用人数</td></tr><tr><td>コミュニティホール</td><td>249件</td><td>8,638人</td></tr><tr><td>研修室</td><td>101件</td><td>3,425人</td></tr><tr><td>和室1</td><td>47件</td><td>3,237人</td></tr><tr><td>和室2</td><td>40件</td><td>3,099人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>437件</td><td>18,399人</td></tr></table>						利用件数	利用人数	コミュニティホール	249件	8,638人	研修室	101件	3,425人	和室1	47件	3,237人	和室2	40件	3,099人	合 計	437件	18,399人
		利用件数	利用人数																								
	コミュニティホール	249件	8,638人																								
	研修室	101件	3,425人																								
	和室1	47件	3,237人																								
	和室2	40件	3,099人																								
	合 計	437件	18,399人																								
	・光熱水費（電気、上下水道）		4,817千円																								
・修繕料（トイレ改修、冷温水発生機修理）		2,854千円																									
・通信運搬費（FAX通信料、火災通報用回線通信料）		105千円																									
・手数料（貯水槽法定検査、地下タンク検査）		116千円																									
・火災保険料		50千円																									
・日直代行業務委託料（業務時間外・休日・祝日貸館対応）		1,479千円																									
・施設清掃委託料（センター内清掃）		468千円																									
・設備維持管理及び保守点検業務委託料		2,275千円																									
（エレベーター保守、自家用電気工作物保安全管理、消防設備点検ほか）																											
・土地借上料（公用車駐車場403㎡）		350千円		成果・課題	○適正な施設管理により福祉事務所の機能維持を図るとともに、総合福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図ることができた。 ○施設の老朽化が進んでいるため、今後も計画的に維持管理を行っていく必要がある。																						
・清掃用具借上料		23千円																									
・工事請負費（受水槽ポンプ修繕、非常用発電機修繕）		919千円																									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部									
	項	01 社会福祉費	942千円		1,003千円	61千円	93.9 %											
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課									
	事業	14 災害時要配慮者支援事業					1,139千円											
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（災害時要配慮者支援事業） 400千円													
目的		災害時要配慮者避難支援プランに基づき、災害時に支援を要する要配慮者避難支援体制を確立することを目的に、台帳の定期更新及び個別避難計画の充実を図るとともに、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域や福祉事業所等の協力体制づくりを推進する。																
主要な事務・事業の概要	○個別避難計画作成協力謝金（34事業所・41人）		164千円		※要支援者台帳登録者数													
	・4千円×41人＝164千円				<table><tr><td></td><td>登録者数</td><td>対前年</td></tr><tr><td>令和5年3月31日現在</td><td>1,332人</td><td>139人減</td></tr><tr><td>令和6年3月31日現在</td><td>1,279人</td><td>53人減</td></tr></table>						登録者数	対前年	令和5年3月31日現在	1,332人	139人減	令和6年3月31日現在	1,279人	53人減
		登録者数	対前年															
	令和5年3月31日現在	1,332人	139人減															
令和6年3月31日現在	1,279人	53人減																
○個別避難計画更新経費		224千円		【台帳共有先】														
・消耗品費		30千円		・自治会、民生児童委員、京丹後警察署、京丹後市社会福祉協議会、避難支援者														
・通信運搬費		194千円		・市関係部署														
○災害時要配慮者支援台帳システム		554千円		長寿福祉課、障害者福祉課、健康推進課、総務課、各市民局、消防署														
・システム保守委託料（14台分）		468千円																
・ライセンス使用料		86千円																
【避難行動要支援者登録台帳】																		
災害が発生する可能性がある時又は発生した場合、自力では避難が困難な在宅の高齢者や障害者の方などを、地域の方々や消防署などが協力し、助け合いながらスムーズな避難行動を行うことを目的として、避難行動要支援者登録台帳を整備している。																		
この台帳は、毎年3月1日を基準日として、区長、民生児童委員の協力により見直しを行っている。																		

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	74千円		133千円	59千円	55.6 %		課
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額		
	事業	16 京丹後市社会福祉大会開催事業					133千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	市民をはじめ、社会福祉協議会や社会福祉施設関係者、民生児童委員、ボランティア及び行政等の福祉関係者が、それぞれの役割を再認識し連携を深めるとともに、より一層の地域福祉の発展と市民一人ひとりが地域で安心して暮らせる福祉社会の形成を図る。								
主要な事務・事業の概要	○報償費（記念講演 講師謝金：市社協と等分負担）		50千円		【概要】 大会名：第6回京丹後市社会福祉大会 共催：京丹後市社会福祉協議会 開催日時：令和5年11月19日 開催場所：峰山総合福祉センター コミュニティホール 内容：第1部 表彰式典 京丹後市功績者表彰 13人 社会福祉事業特別功労者表彰 84人、14団体 第2部 記念講演「児童養護施設という、私のおうち」 一般社団法人たすけあい 代表理事 田中れいか 氏 参加者：約90人				
	○需用費（装花等）		17千円						
主要な事務・事業の概要	○役務費		7千円		成果・課題 市民、社会福祉協議会、社会福祉施設関係者、民生児童委員、ボランティア及び行政等の福祉関係者が一堂に会し、それぞれの役割を再認識するとともに、相互の連携を強化し、地域共生社会の理解を深めることができた。				
	・通信運搬費（出欠確認用往復ハガキ）		4千円						
	・手数料（白布クリーニング代）		3千円						
※3年ごとに開催（前回：令和2年度開催）									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	600千円		600千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	18 介護福祉士養成奨学金貸与事業					1,200千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的	市内の福祉施設において介護福祉士として従事しようとする意思を有する者に対して、奨学金を貸与することにより、介護福祉士の養成及び市内介護事業所への就職を促進し、福祉体制の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	将来、市内の福祉施設に介護福祉士として勤務する意思を有する者に対し、奨学金を貸与した。 ○介護福祉士養成奨学金貸与金 600千円 貸与者：1人（50千円/月） 貸与期間：令和5年4月～令和6年3月（1年目）（最大2年間） 返還の免除：介護福祉士の資格を取得し、京丹後市内の介護事業所や障害福祉サービス事業所に一定期間勤務した場合は、貸与金の返還を免除。				成果・課題	将来、本市において、介護福祉士として介護等事業所への就業促進を図るため、本事業の周知・広報活動を強化し、制度利用者を増やす必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	2,829千円		2,985千円	156千円	94.7 %			
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課	
	事業	19 権利擁護支援体制整備推進事業					2,985千円			
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			177千円	
目的	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、判断能力が十分でない高齢者、知的障害者及び精神障害者等が成年後見制度を円滑に利用できるような体制づくりを行い、身近な住み慣れた地域で安心できる「ささえあい」による権利擁護の推進を図る。				府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			88千円	
				府補	地域医療介護総合確保事業費補助金（10/10）			2,350千円		
主要な事務・事業の概要	地域における成年後見制度を始めとした権利擁護支援体制の整備の事務局・相談窓口として成年後見サポートセンターを設置し、日常的な相談対応のほか、専門職等との連携による権利擁護チームの支援、普及啓発活動、権利擁護支援を担う人材養成などの取組を行った。 成年後見サポートセンター（中核機関）による取組 (1) 成年後見制度に関する相談支援 (2) 成年後見制度に関する広報及び啓発 (3) 権利擁護支援に係る人材の養成及び支援 (4) 権利擁護支援に係る関係機関等との連携及び調整				○普及啓発・担い手養成事業委託料					2,644千円
					委 託 先：京丹後市社会福祉協議会 事業内容 ① 出前講座の開催（11回、延べ参加者数195人） ② 権利擁護支援啓発講座の開催（1回、参加者数30人） ③ 啓発パンフレットの配布 ④ 権利擁護に関わる支援者養成講座の開催（3日間×1回、参加者15人）					
	○権利擁護支援体制あり方検討委員会開催経費				185千円	成果・課題	○権利擁護支援体制あり方検討委員会での検討・連携のもと、専門職と協働して市民に向けた啓発講座の開催・支援者養成講座（実務編）の開催など、権利擁護支援の体制づくりに取り組めた。 ○成年後見制度が必要となる人が増える中、近隣市町とも連携しながら、制度の普及啓発とともに、地域での見守りや担い手の仕組みづくりを継続して進める必要がある。			
・委員等謝金（3回×委員7人、1回×オブザーバー10人）				122千円						
・委員等費用弁償				48千円						
・消耗品費（事務用品）				10千円						
・郵便代				5千円						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	1,159千円		1,654千円	495千円	70.0 %																										
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																								
	事業	20 介護人材育成支援事業					3,361千円																										
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																													
目的		介護サービス又は障害福祉サービスに従事する介護職員の確保及び資質の向上を図るため、介護職員の資格取得に要する研修の受講料等を負担した社会福祉法人等に対し、その費用の一部を支援する。																															
主要な事務・事業の概要	介護職員の資格取得に要する研修の受講費用に対して補助金を交付した。				③介護職員実務者研修（補助率：2/3、上限60千円） <table><tr><td>申請法人</td><td>受講数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>（福）あしぎぬ福祉会</td><td>6人</td><td>425千円</td></tr><tr><td>（特非）いやしの郷ほっこ里</td><td>1人</td><td>36千円</td></tr><tr><td>（福）北丹後福祉会</td><td>1人</td><td>66千円</td></tr><tr><td>（福）久美の浜福祉会</td><td>1人</td><td>66千円</td></tr><tr><td>（福）太陽福祉会</td><td>5人</td><td>212千円</td></tr><tr><td>（福）みねやま福祉会</td><td>1人</td><td>80千円</td></tr><tr><td>計</td><td>15人</td><td>885千円</td></tr></table>					申請法人	受講数	補助金額	（福）あしぎぬ福祉会	6人	425千円	（特非）いやしの郷ほっこ里	1人	36千円	（福）北丹後福祉会	1人	66千円	（福）久美の浜福祉会	1人	66千円	（福）太陽福祉会	5人	212千円	（福）みねやま福祉会	1人	80千円	計	15人	885千円
	申請法人	受講数	補助金額																														
	（福）あしぎぬ福祉会	6人	425千円																														
	（特非）いやしの郷ほっこ里	1人	36千円																														
	（福）北丹後福祉会	1人	66千円																														
	（福）久美の浜福祉会	1人	66千円																														
	（福）太陽福祉会	5人	212千円																														
	（福）みねやま福祉会	1人	80千円																														
	計	15人	885千円																														
	○介護資格取得費用補助金（個人向け）18千円																																
・介護職員初任者研修（1人、補助率：2/3、上限60千円）																																	
○介護人材確保育成支援事業補助金（法人向け）1,118千円																																	
①主任介護支援専門員研修（補助率：10/10） <table><tr><td>申請法人</td><td>受講数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>（福）北丹後福祉会</td><td>1人</td><td>44千円</td></tr><tr><td>（福）太陽福祉会</td><td>1人</td><td>37千円</td></tr><tr><td>計</td><td>2人</td><td>81千円</td></tr></table>				申請法人	受講数	補助金額	（福）北丹後福祉会	1人	44千円	（福）太陽福祉会	1人	37千円	計	2人	81千円																		
申請法人	受講数	補助金額																															
（福）北丹後福祉会	1人	44千円																															
（福）太陽福祉会	1人	37千円																															
計	2人	81千円																															
②介護職員初任者研修（補助率：2/3、上限60千円） <table><tr><td>申請法人</td><td>受講数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>（株）きのこ</td><td>1人</td><td>60千円</td></tr><tr><td>（株）高天の森</td><td>1人</td><td>46千円</td></tr><tr><td>（特非）ふくし京丹後</td><td>1人</td><td>46千円</td></tr><tr><td>計</td><td>3人</td><td>152千円</td></tr></table>				申請法人	受講数	補助金額	（株）きのこ	1人	60千円	（株）高天の森	1人	46千円	（特非）ふくし京丹後	1人	46千円	計	3人	152千円															
申請法人	受講数	補助金額																															
（株）きのこ	1人	60千円																															
（株）高天の森	1人	46千円																															
（特非）ふくし京丹後	1人	46千円																															
計	3人	152千円																															
○消耗品費（チラシ用紙）23千円																																	
成果・課題																																	
○介護・障害福祉サービス分野への就労及び介護職員の資質向上に寄与することができた。 ○更なる職員の確保等につなげていくため、本事業の周知・広報活動を強化する必要がある。																																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																												
	項	01 社会福祉費	1,714千円		1,800千円	86千円	95.2 %																														
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																												
	事業	21 福祉施設等感染症対策支援事業					2,400千円																														
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																																	
目的		新型コロナウイルス感染症の感染防止等を目的に、福祉施設が入所予定者に対して行うPCR検査の費用を支援する。																																			
主要な事務・事業の概要	○ 福祉施設等入所予定者PCR検査費用補助金 1,714千円 福祉施設等における新型コロナウイルス感染症の発生を未然に防ぎ、安心してサービスの利用できる環境を整えることを目的に、福祉施設の入所予定者に対して行ったPCR検査費用に対して補助金を交付した。 対象施設等：入所（入居）系の高齢者福祉施設、障害者福祉施設 補助率：10/10（補助上限額：2万円/人） <table><thead><tr><th>サービス種別</th><th>交付施設数</th><th>人数</th><th>補助金額</th></tr></thead><tbody><tr><td>特別養護老人ホーム</td><td>10施設</td><td>71人</td><td>1,010千円</td></tr><tr><td>認知症対応型共同生活介護</td><td>4施設</td><td>20人</td><td>294千円</td></tr><tr><td>養護老人ホーム</td><td>1施設</td><td>5人</td><td>51千円</td></tr><tr><td>短期入所生活介護</td><td>2施設</td><td>15人</td><td>253千円</td></tr><tr><td>軽費老人ホーム</td><td>2施設</td><td>7人</td><td>106千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>19施設</td><td>118人</td><td>1,714千円</td></tr></tbody></table>				サービス種別	交付施設数	人数	補助金額	特別養護老人ホーム	10施設	71人	1,010千円	認知症対応型共同生活介護	4施設	20人	294千円	養護老人ホーム	1施設	5人	51千円	短期入所生活介護	2施設	15人	253千円	軽費老人ホーム	2施設	7人	106千円	合 計	19施設	118人	1,714千円					
					サービス種別	交付施設数	人数	補助金額																													
					特別養護老人ホーム	10施設	71人	1,010千円																													
					認知症対応型共同生活介護	4施設	20人	294千円																													
					養護老人ホーム	1施設	5人	51千円																													
短期入所生活介護	2施設	15人	253千円																																		
軽費老人ホーム	2施設	7人	106千円																																		
合 計	19施設	118人	1,714千円																																		
				成果・課題	福祉施設の入所予定者に対するPCR検査の実施を支援することで、利用者が安心して介護サービスを利用でき、また、介護職員が安心して働ける環境整備に寄与することができた。																																

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	825,396千円		825,907千円	511千円	99.9 %																										
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																								
	事業	23 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業					0千円																										
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 214,721千円																											
					国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 610,675千円																											
目的		電力・ガス・食料品等の価格高騰を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等の暮らしの支援として、臨時特別給付金を支給する。																															
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）		1,700千円		【概要】																												
	・報酬、職員手当、社会保険料等				<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">住民税非課税世帯等臨時特別給付金</td><td>住民税均等割のみ課税世帯等に対する臨時特別給付金</td><td>低所得者の子育て世帯加算給付金</td></tr><tr><td>3万円給付</td><td>7万円給付</td><td></td><td></td></tr><tr><td>基準日</td><td>令和5年6月1日</td><td>令和5年12月1日</td><td>令和5年12月1日</td><td>令和5年12月1日</td></tr><tr><td>給付額（※）</td><td>30千円</td><td>70千円</td><td>100千円</td><td>50千円</td></tr><tr><td>給付件数</td><td>7,049件</td><td>6,171件</td><td>1,374件</td><td>766件</td></tr></table>						住民税非課税世帯等臨時特別給付金		住民税均等割のみ課税世帯等に対する臨時特別給付金	低所得者の子育て世帯加算給付金	3万円給付	7万円給付			基準日	令和5年6月1日	令和5年12月1日	令和5年12月1日	令和5年12月1日	給付額（※）	30千円	70千円	100千円	50千円	給付件数	7,049件	6,171件	1,374件	766件
		住民税非課税世帯等臨時特別給付金		住民税均等割のみ課税世帯等に対する臨時特別給付金							低所得者の子育て世帯加算給付金																						
		3万円給付	7万円給付																														
	基準日	令和5年6月1日	令和5年12月1日	令和5年12月1日						令和5年12月1日																							
	給付額（※）	30千円	70千円	100千円						50千円																							
	給付件数	7,049件	6,171件	1,374件	766件																												
	○職員手当等（時間外勤務手当）		172千円																														
	○需用費（消耗品費、印刷製本費）		368千円																														
	○役務費（通信運搬費、手数料）		2,992千円																														
○負担金、補助及び交付金		820,164千円																															
・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金		1,024千円																															
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金（3万円給付）		211,470千円																															
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金（7万円給付）		431,970千円																															
・住民税均等割非課税世帯等に対する臨時特別給付金		137,400千円																															
・低所得者の子育て世帯加算給付金		38,300千円																															
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		825,404千円		成果・課題	電力・ガス・食料品等の価格高騰等様々な困難に直面した非課税世帯、低所得者世帯等に対し、臨時特別給付金を支給することにより、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができた。																											
	実質的な予算執行率		99.9%																														
■令和6年度への繰越事業																																	
・低所得者の子育て世帯加算給付金（令和6年5月完了）		503千円																															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	9,534千円		9,926千円	392千円	96.0 %			
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課	
	事業	50 社会福祉総務一般経費					12,549千円			
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業補助金（10/10）			2,000千円	
			国委		厚生労働統計調査事務委託金			19千円		
目的		福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費のほか、ひとり親家庭の自立の促進や障害者の社会参加を促進するため、社会福祉団体に補助金を交付し、福祉の向上を図る。			諸収入	市有自動車損害共済金			88千円	
主要な事務・事業の概要	○社会福祉業務運営に係る一般経費		6,275千円		○社会福祉団体事業補助金					2,819千円
	・福祉事務所共通物品購入経費（事務用品、封筒、事務機器消耗品ほか）		2,679千円		・母子寡婦福祉会活動補助金					343千円
	・公用車（18台）の維持管理経費（修繕料、燃料費、自動車登録手数料、保険料ほか）		3,237千円		・障害者団体活動補助金					476千円
	・職員旅費等（会議ほか）		104千円		・小規模法人ネットワーク化による協議推進事業補助金（1件）					2,000千円
	・近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金		8千円		○会計年度任用職員任用経費（育休代替1人・2か月）					379千円
	・各種講習会受講負担金		70千円		（報酬、期末手当、社会保険料、雇用保険料、費用弁償）					
	・安全運転管理者講習会負担金、運転経歴証明書手数料		10千円							
	・防火管理者講習会受講負担金		3千円							
	・ごみ持込処理手数料		68千円							
	・母子家庭奨学金申請書に関する通知書等郵送料		54千円							
・その他経費（テレビ受信料、火災保険料、修繕料）		42千円								
○旧丹後保健センター管理経費		61千円		成果・課題	○福祉事務所の運営を円滑に実施することができた。					
・電気代、消防設備等保守点検委託料		21千円			○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭の自立の促進や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。					
・センター出入口修繕工事		40千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	17,269千円		17,795千円	526千円	97.0 %			
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課	
	事業	01 自立相談支援事業					15,454千円			
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	使用料	公有財産使用料 28千円				
目的	くらしやしごとに関して幅広い相談を来所・訪問・Webなどの方法で受け付けられる相談体制を整え、多様で複合的な問題を抱える生活困窮者に対して、個別的、包括的、かつ計画的な伴走型の支援によって自立の促進を図るとともに、生活困窮者支援を通じた地域内外のネットワークの構築により、支え合い、助け合う地域づくりを推進する。				国負	生活困窮者自立支援負担金（3/4） 9,660千円				
					国補	生活困窮者自立支援補助金（2/3） 2,479千円				
					諸収入	寄り添い支援総合センター光熱水費負担金 224千円				
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員4人）			12,952千円		≪支援実績≫				
	・報酬			9,173千円		年度	新規相談者数 （うち市民相談）	前年度から 引き継ぎ数	プラン 作成数	就労者数
	・期末手当			1,740千円		R2	305人 （160人）	54人	164件	21人
	・社会保険料、雇用保険料、共済負担金			1,802千円		R3	264人 （118人）	174人	302件	20人
	・費用弁償（通勤費）			237千円		R4	205人 （97人）	217人	142件	18人
	○その他相談支援等経費			2,883千円		R5	229人 （130人）	275人	112件	11人
	・相談支援等公用車経費（リース、保険料、燃料費）			608千円		成果・課題				
	・施設維持管理経費									
	・光熱水費、燃料費、ごみ処理手数料			562千円						
	・通信運搬費（電話代、光回線使用料等）			424千円						
	・消耗品費（事務用品、コピーチャージ料）			286千円						
	・使用料（コピー機、ソフトウェア等）			105千円						
・研修費（旅費、有料道路通行料、駐車場使用料）			101千円		○来所による相談に加え、フリーダイヤルやLINE、庁内や関係機関及び地域事業所からの紹介や、総合相談会（4回開催）など、相談しやすい環境づくりに努めた。 ○伴走型支援によって、各種制度へのつなぎに加え、就労（11人）、転職による増収（1人）につなげることができた。					
・工事請負費（電話機取替工事）			672千円							
・備品購入費（ノートパソコン1台）			125千円							
○過年度国庫支出金返還金（生活困窮者自立支援負担金）			1,434千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																					
	項	01 社会福祉費	729千円		729千円	0千円	100.0 %																																							
	目	02 くらしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																																					
	事業	02 離職者等支援事業					2,720千円																																							
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金（3/4）			300千円																																					
					国補	生活困窮者自立支援補助金（2/3）			219千円																																					
目的	離職等により経済的に困窮し、住宅喪失又は住宅喪失のおそれのある方に対して住居の確保のために住居費を支給し、また、住居を喪失している方に対しては、緊急一時的に宿泊場所を提供するなど、再就労等に向けた居住支援を行う。																																													
主要な事務・事業の概要	○離職者住宅支援給付事業補助金（家賃給付）			400千円		○緊急一時生活支援事業					329千円																																			
	・新規申請分 3件（47千円×4か月、36千円×1か月） ・延長申請分 2件（35千円×1か月、47千円×3か月） ・再延長申請 なし					7千円（1泊3食）× 47泊																																								
	≪支援実績≫ <table><tr><td>年 度</td><td>利用人数</td><td>利用月数</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1人</td><td>1か月</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>15人</td><td>42か月</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>18人</td><td>91か月</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>15人</td><td>56か月</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>4人</td><td>9か月</td></tr></table>			年 度	利用人数	利用月数	令和元年度	1人	1か月	令和2年度	15人	42か月	令和3年度	18人	91か月	令和4年度	15人	56か月	令和5年度	4人	9か月			≪支援実績≫ <table><tr><td>年 度</td><td>利用人数</td><td>利用日数</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1人</td><td>54日</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>3人</td><td>46日</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>10人</td><td>135日</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>4人</td><td>44日</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>6人</td><td>47日</td></tr></table>					年 度	利用人数	利用日数	令和元年度	1人	54日	令和2年度	3人	46日	令和3年度	10人	135日	令和4年度	4人	44日	令和5年度	6人	47日
年 度	利用人数	利用月数																																												
令和元年度	1人	1か月																																												
令和2年度	15人	42か月																																												
令和3年度	18人	91か月																																												
令和4年度	15人	56か月																																												
令和5年度	4人	9か月																																												
年 度	利用人数	利用日数																																												
令和元年度	1人	54日																																												
令和2年度	3人	46日																																												
令和3年度	10人	135日																																												
令和4年度	4人	44日																																												
令和5年度	6人	47日																																												
					成果・課題	○住宅支援給付補助金について、離職等で住居を失うおそれのあった方に家賃相当額を給付することで、求職活動中における安定した住まいの確保を支援することができた。 ○離職等で既に住居を失った状態で相談に来られる方に対して、緊急一時的な生活拠点を提供することで、生活困窮者の自立を支援することができた。																																								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	19,393千円		19,880千円	487千円	97.5 %				
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課		
	事業	03 就労準備支援事業					18,063千円				
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 14,150千円							
目的	「黒部の居場所ひまわり」を拠点に、直ちに一般就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対して、就労への準備として生活習慣の形成や社会性などの基礎能力向上、事業所等での就労体験などによる技術や知識の習得及び個々の適正の見極め等を計画的かつ一貫して支援する。										
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員1人） 3,371千円				○その他事業運営経費 760千円						
	・報酬（就労準備支援） 2,361千円				・相談支援等公用車経費（燃料費、登録手数料、保険料等） 168千円						
	・期末手当 475千円				・消耗品費 62千円						
	・社会保険料、雇用保険料、共済負担金 456千円				・燃料費、光熱水費 422千円						
	・費用弁償（通勤費） 79千円				・施設維持管理費（保険料、修繕料、保守委託料等） 89千円						
	○就労準備支援事業委託料 13,500千円				・ソフトウェア使用料（1台） 19千円						
	委託先：企業組合労協センター事業団				○過年度国庫支出金返還金（生活困窮者自立支援補助金） 1,762千円						
	・通所型訓練による就労準備支援事業										
	①内務作業（木工・組立作業ほか）による就労体験事業 7,130千円										
	②農業・里山活用による就労体験事業 6,168千円										
	利用者数：8人（生活困窮7人、生活保護1人）										
	延べ利用者数：635人（月平均52人）										
	・短期訓練による就労準備支援事業（合宿型就労体験） 202千円				成果・課題						
	利用者数：10人（生活困窮10人、生活保護0人）				○居場所利用から訓練利用へのステップアップが困難な方への対応として自前のセミナーを開催し、ステップアップにつなぐことができた。						
	延べ利用者数：593人（月平均49人）				○3人が訓練を終了し、うち2人は就労に、1人は他事業（高齢者あんしんサポートハウス）につなげることができた。						
	居場所セミナー開催 12回（延べ53人参加）										

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,033千円		1,168千円	135千円	88.4 %		
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	04 子どもの学習支援事業					3,011千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（1/2）					516千円
目的	貧困の連鎖を防止するため、被保護世帯の子どもを中心に、学習支援員が対象世帯に直接訪問し、子どもの学習支援と併せて家庭の生活環境改善や養育支援を行う。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（学習支援員4人）		1,015千円						
	・報酬		981千円						
	・費用弁償（通勤費）		34千円						
	○その他経費		18千円						
	・消耗品費		8千円						
	・ソフトウェア使用料（ウイルス対策ソフト）		10千円						
	《支援実績》								
	年 度	利用世帯数	小学生	中学生	延べ訪問回数				
	令和元年度	5世帯	5人	4人	169回				
	令和2年度	1世帯	0人	1人	12回				
令和3年度	3世帯	1人	2人	41回					
令和4年度	4世帯	5人	2人	61回					
令和5年度	5世帯	8人	2人	156回					
成果・課題	○学習支援に加え、基本的な生活習慣や生活環境改善を継続して支援することができた。 ○各児童生徒の家庭での過ごし方や実態に応じて対応するため、学習支援員を2人増員したことにより訪問回数が大きく増加した。 ○学習支援員が定期的に訪問することにより、見守ってくれる人がいるという子どもの精神的な安定につなげることができた。 ○教育委員会など関係機関と連携を継続するだけでなく、就学から就労へ円滑に繋がるよう高等学校とも連携を図る必要がある。								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																			
	項	01 社会福祉費	6,784千円		6,784千円	0千円	100.0 %		課	生活福祉課																		
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額																					
	事業	05 家計改善支援事業					6,784千円																					
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 3,226千円																								
目的	生活困窮者の家計状況の把握、債務整理及び将来に向けたキャッシュフローの作成等を支援することにより、家計改善を図る。																											
主要な事務・事業の概要	○生活困窮者相談支援事業委託料 6,784千円																											
	生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計にまつわる事業を実施している京丹後市社会福祉協議会に委託を行うことで、生活困窮者に対して複数の事業と連携した対応を行うことにより、再度、困窮状態へ陥らないように、貸付後の返済を含めた家計の改善に向けた早期の支援を行った。																											
	【実績】																											
	<table><tr><td></td><td>被保護者</td><td>他(自立相談)</td><td>合 計</td></tr><tr><td>R2</td><td>1人</td><td>4人</td><td>5人</td></tr><tr><td>R3</td><td>2人</td><td>11人</td><td>13人</td></tr><tr><td>R4</td><td>3人</td><td>34人</td><td>37人</td></tr><tr><td>R5</td><td>2人</td><td>13人</td><td>15人</td></tr></table>			被保護者	他(自立相談)	合 計	R2	1人	4人	5人	R3	2人	11人	13人	R4	3人	34人	37人	R5	2人	13人	15人						
	被保護者	他(自立相談)	合 計																									
R2	1人	4人	5人																									
R3	2人	11人	13人																									
R4	3人	34人	37人																									
R5	2人	13人	15人																									
※令和2年度から自立相談支援員による生活困窮者相談支援事業を実施。令和3年度から京丹後市社会福祉協議会へ委託。																												
		成果・課題	○京丹後市社会福祉協議会へ委託することで、自立相談事業との連携により、利用が必要な方の掘り起こしと支援ができた。 ○定期的に訪問するなど継続的に支援することで、利用者は家計の整理に取り組み、家計の維持向上が進んだ。 ○精神疾患や知的障害等を抱える利用者もあり、どこまで家計管理能力を利用者に求めるかなど慎重に実施する必要がある。																									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	471千円		471千円	0千円	100.0 %		
	目	02 くらしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	07 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業					0千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	社会福祉協議会が実施する総合支援資金の貸付が終了するなどにより、さらなる貸付を利用できない生活困窮世帯を対象にした「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の国庫補助金について、実績精算により返還する。								
主要な事務・事業の概要	○過年度国庫支出金返還金		471千円						
	・新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金								
	交 付 額	7,542千円							
	実 績 額	7,071千円							
	返 還 額	471千円							
				成果・課題	令和4年度新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金の国庫補助金について、実績精算により返還した。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																			
	項	01 社会福祉費	24,041千円		24,133千円	92千円	99.6 %		課	生活福祉課																		
	目	02 くらしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額																					
	事業	09 重層的支援体制整備移行準備事業					24,133千円																					
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金（3/4）			3,365千円																			
目的		国が推進する重層的支援体制整備事業へ向けて、新しいコミュニティの推進と連動する地域共生ステーションを設置し、支え合い助け合う地域福祉を推進する。 また、地域共生社会を目指した事業及び事業体制を検討するため、京丹後市重層的支援体制整備事業庁内検討委員会を設置する。			国補	生活困窮者自立支援補助金（3/4）			9,375千円																			
					国補	新型コロナウイルス感染症対策ネットワーク強化交付金（3/4）			2,940千円																			
主要な事務・事業の概要	○地域共生推進委託事業委託料 委託先：京丹後市社会福祉協議会 地域福祉の総合案内・コーディネートの役割を担う、地域共生ステーション4か所（網野・丹後・弥栄・久美浜）及び市域における福祉の総合相談や共助の取組への支援に関する業務を一体的に委託し、市民に身近な場所で、地域の相談から個人の相談に対応できる体制を整備する。 ○費用弁償 ・重層的支援体制整備事業庁内検討委員会委員費用弁償 （検討会3回、ワーキンググループ3回の学識者参加） ・包括的相談支援人材養成研修講師費用弁償 （12月14日 先進地福井県坂井市から講師にかかる費用弁償） ○研修会参加にかかる駐車料、高速道路使用料				23,915千円		・活動実績（件）																					
					<table><tr><th></th><th>網野</th><th>丹後</th><th>弥栄</th><th>久美浜</th></tr><tr><td>コーディネート</td><td>127</td><td>72</td><td>89</td><td>99</td></tr><tr><td>地域カルテ作成・更新</td><td>49</td><td>35</td><td>65</td><td>77</td></tr><tr><td>新規相談（福祉相談）</td><td>23</td><td>44</td><td>17</td><td>16</td></tr></table>					網野	丹後	弥栄	久美浜	コーディネート	127	72	89	99	地域カルテ作成・更新	49	35	65	77	新規相談（福祉相談）	23	44	17	16
						網野	丹後	弥栄	久美浜																			
					コーディネート	127	72	89	99																			
					地域カルテ作成・更新	49	35	65	77																			
新規相談（福祉相談）	23	44	17	16																								
119千円																												
85千円																												
34千円																												
7千円				成果・課題	○4地域の地域カルテの作成や更新を115区において実施して、地域の状況把握を進めるとともに、地域の地区サロン開始や再開、子ども食堂の立ち上げについての相談を受けて実施に向けた支援をすることができた。 ○個人の方や地域の役員からの相談を受けて、見守り活動や除雪活動、公的サービス等（寄り添い支援総合サポートセンターや地域包括支援センター）へ繋ぐことができた。																							

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																											
	項	01 社会福祉費	3,423千円		3,424千円	1千円	99.9 %		課	障害者福祉課																																										
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額																																													
	事業	01 通所費助成事業					3,588千円																																													
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源																																																
目的	共同作業所等に通所している利用者の通所に係る交通費を助成し、障害者及びその保護者の経済的負担を軽減することで、社会参加と自立の促進を図る。																																																			
主要な事務・事業の概要	生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費を助成した。 ○共同作業所等通所費助成金 3,423千円 助成対象：15施設 実人数 85人（延べ791人） 【参考】通所施設 <table><tr><td>法人名</td><td>施設名</td><td>延べ人数</td></tr><tr><td rowspan="7">社会福祉法人 よさのうみ福祉会</td><td>峰山共同作業所</td><td>292人</td></tr><tr><td>みねやま作業所</td><td>53人</td></tr><tr><td>ゆうゆう作業所</td><td>99人</td></tr><tr><td>be-plus</td><td>12人</td></tr><tr><td>リフレかやの里</td><td>12人</td></tr><tr><td>ワークセンター花音</td><td>12人</td></tr><tr><td>障害児(者)多機能型生活支援センターろむ</td><td>12人</td></tr></table>				法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	292人	みねやま作業所	53人	ゆうゆう作業所	99人	be-plus	12人	リフレかやの里	12人	ワークセンター花音	12人	障害児(者)多機能型生活支援センターろむ	12人	<table><tr><td>法人名</td><td>施設名</td><td>延べ人数</td></tr><tr><td rowspan="2">社会福祉法人 久美の浜福祉会</td><td>つばさ</td><td>59人</td></tr><tr><td>あおぞら</td><td>12人</td></tr><tr><td rowspan="2">社会福祉法人 あみの福祉会</td><td>だるまハウス</td><td>49人</td></tr><tr><td>四つ葉ハウス</td><td>61人</td></tr><tr><td>特定非営利活動法人 みらい</td><td>みらい</td><td>29人</td></tr><tr><td>特定非営利活動法人 つなぐ</td><td>つなぐ</td><td>71人</td></tr><tr><td>株式会社 NINE</td><td>ナイン舞鶴</td><td>12人</td></tr><tr><td>合同会社 舞どりーむ</td><td>デジタル工房幸福堂</td><td>6人</td></tr></table>					法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	59人	あおぞら	12人	社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	49人	四つ葉ハウス	61人	特定非営利活動法人 みらい	みらい	29人	特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	71人	株式会社 NINE	ナイン舞鶴	12人	合同会社 舞どりーむ	デジタル工房幸福堂	6人
					法人名	施設名	延べ人数																																													
					社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	292人																																													
						みねやま作業所	53人																																													
						ゆうゆう作業所	99人																																													
						be-plus	12人																																													
						リフレかやの里	12人																																													
						ワークセンター花音	12人																																													
						障害児(者)多機能型生活支援センターろむ	12人																																													
					法人名	施設名	延べ人数																																													
社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	59人																																																		
	あおぞら	12人																																																		
社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	49人																																																		
	四つ葉ハウス	61人																																																		
特定非営利活動法人 みらい	みらい	29人																																																		
特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	71人																																																		
株式会社 NINE	ナイン舞鶴	12人																																																		
合同会社 舞どりーむ	デジタル工房幸福堂	6人																																																		
				成果・課題	障害者とその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者の職業訓練と社会参加、自立の促進を支援することができた。																																															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	25,463千円		25,464千円	1千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	障害者福祉課	
	事業	02 障害者等手当支給事業					30,875千円		
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負 特別障害者手当等給付費負担金（3/4） 19,097千円					
目的	常時介護が必要な在宅障害児者への手当支給により経済的支援を行い、障害者福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給した。 ○障害児福祉手当給付費 6,125千円 給付額： 14,850円/月（令和5年2月～3月） 15,220円/月（令和5年4月～令和6年1月） 給付人数： 延べ404人 月平均受給者数：34人 ○特別障害者手当給付費 19,338千円 給付額： 27,300円/月（令和5年2月～3月） 27,980円/月（令和5年4月～令和6年1月） 給付人数： 延べ696人 月平均受給者数：58人 ※支給対象月：令和5年2月～令和6年1月（年4回支給） ただし、資格喪失児者に対しては随時支給。				成果・課題	手当の支給により、在宅重度障害児者の経済的負担の軽減を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																						
	項	01 社会福祉費	1,372千円		1,372千円	0千円	100.0 %		課	障害者福祉課																					
	目	03 障害者福祉費																													
	事業	03 じん臓機能障害者通院交通費助成事業																													
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源																											
目的	慢性透析療法のために通院治療を必要とする透析患者が、公共交通機関や自家用車を利用して通院する場合、その交通費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。																														
主要な事務・事業の概要	じん臓機能障害者に対して、通院に必要な交通費の一部を助成した。 ○じん臓機能障害者通院交通費助成金 1,372千円 公共交通機関での通院費又は片道20kmを超える自家用車での通院実費（25円/km）のいずれかのうち、月10千円を上限として1/2を助成した。 （単位：人、千円） <table><tr><td></td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td>実人数</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>5</td><td>1</td><td>16</td><td>34</td></tr><tr><td>助成額</td><td>103</td><td>140</td><td>133</td><td>204</td><td>35</td><td>757</td><td>1,372</td></tr></table>					峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	実人数	2	4	6	5	1	16	34	助成額	103	140	133	204	35	757	1,372	成果・課題	じん臓機能障害により慢性透析療法を必要とする方が安心して通院治療に専念できるよう、通院交通費に対し助成金を交付することで、経済的な負担の軽減を図ることができた。	
						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																			
					実人数	2	4	6	5	1	16	34																			
					助成額	103	140	133	204	35	757	1,372																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部								
	項	01 社会福祉費					99.9 %										
	目	03 障害者福祉費	1,835,534千円		1,835,901千円	367千円	(参考)当初予算額	課	障害者福祉課								
	事業	04 障害福祉サービス事業					1,770,022千円										
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負 介護給付・訓練等給付費負担金（1/2） 873,928千円												
目的		障害のある方が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付その他の支援を行い、障害者福祉を推進する。			国負 障害児通所給付費負担金（1/2） 45,512千円												
					府負 介護給付・訓練等給付費負担金（1/4） 433,869千円												
					府負 障害児通所給付費負担金（1/4） 22,695千円												
					府補 障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2） 1,179千円												
					府補 医療的ケア児者等福祉サービス利用等促進事業補助金（1/2） 379千円												
主要な事務・事業の概要	○扶助費 1,828,837千円		＜高額及び障害者福祉サービス等利用支援費支給関係＞ 延べ利用者数														
	・各種サービスを利用するための介護給付費等 1,826,071千円		<table><tr><td>高額障害福祉サービス等</td><td>73人</td><td>補装具</td><td>26人</td></tr><tr><td>知的障害者施設入所者医療</td><td>7人</td><td>自立支援医療（更生医療）</td><td>37人</td></tr></table>							高額障害福祉サービス等	73人	補装具	26人	知的障害者施設入所者医療	7人	自立支援医療（更生医療）	37人
	高額障害福祉サービス等	73人	補装具	26人													
	知的障害者施設入所者医療	7人	自立支援医療（更生医療）	37人													
	介護給付費等関係 延べ利用者数及び給付実績																
	訪問系（居宅介護等）		1,547人	112,455千円													
	日中活動系（生活介護）		3,049人	746,248千円													
	日中活動系（訓練等）		2,617人	372,643千円													
	短期入所		457人	37,628千円													
	施設入所支援		1,151人	183,978千円													
	共同生活援助		1,009人	178,003千円													
	療養介護（医療費除く）		149人	41,258千円													
	計画相談		2,792人	43,214千円													
	児童発達支援		1,006人	38,549千円													
	放課後等デイサービス		974人	40,459千円													
	保育所等訪問支援		75人	1,404千円													
	訪問型児童発達支援		19人	964千円													
	障害児相談支援		597人	9,354千円													
	特定障害者特別給付費		2,160人	19,246千円													
特例介護給付費等		12人	668千円														
・サービス利用に係る利用者負担を軽減する支援給付費等 2,766千円																	
		○審査支払事務手数料 2,643千円 介護給付費等支払に係る国保連合会事務手数料															
		○障害者福祉サービス等事業所への助成 3,786千円 ・最重度強度行動障害者特別支援補助金 3,027千円 ・医療型短期入所受入体制強化事業補助金 759千円															
		○障害者福祉サービス等利用支援負担金 268千円 京都府自立支援医療利用者負担事業（精神通院医療分）市負担分															
		成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律及び児童福祉法に基づくサービス支給決定・給付を適切に実施することができた。 ○利用者の経済状況に応じた負担軽減を図ることができた。 ○ニーズに応じた給付ができるよう事業所と一層の連携を図っていく必要がある。														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	21,183千円		21,206千円	23千円	99.8 %				
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課		
	事業	05 自立支援医療事業					23,116千円				
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金（1/2）			11,325千円		
目的	障害児者等が障害を除去又は軽減するための医療を受けた場合、必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。				府負	障害者自立支援医療費負担金（1/4）			5,222千円		
				府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金（1/2）			135千円			
主要な事務・事業の概要	身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療費、身体に障害がある又は障害が残ると思われる病気にかかっている18歳未満の児童が手術等により治療効果が期待できるものについて育成医療費、療養介護サービス利用者に対して療養介護医療費をそれぞれ給付した。 また、更生医療の対象とならない在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成した。				○自立支援医療特別対策事業給付費					271千円	
					対象医療：在宅酸素療法、ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患等						
					認定人数：3人						
					○自立支援医療（更生医療）給付費					10,767千円	
	対象医療：人工関節置換術、ペースメーカー移植術、人工透析等										
認定人数：101人					○自立支援医療（更生医療）審査支払事務手数料					16千円	
○自立支援医療（育成医療）給付費					26千円	○自立支援医療（育成医療）審査支払事務手数料					1千円
対象医療：唇顎口蓋裂等						○自立支援医療（療養介護医療）審査支払事務手数料					7千円
認定人数：1人					○自立支援医療特別対策事業審査支払事務手数料					1千円	
○自立支援医療（療養介護医療）給付費					10,094千円	成果・課題	医療費の負担を軽減することにより、障害児者が安心して治療に専念し、日常生活能力の回復、改善を図ることができた。				
対象医療：障害支援区分が区分5以上の重症心身障害者等の医療費											
認定人数：13人											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	12,515千円		12,710千円	195千円	98.4 %																										
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課																								
	事業	06 補装具事業					14,000千円																										
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負 障害児者補装具給付費負担金（1/2） 7,000千円																												
					府負 障害児者補装具給付費負担金（1/4） 3,178千円																												
目的	身体障害者及び身体障害児の身体機能を補完又は代替する補装具を給付し、日常生活及び社会生活を支援する。																																
主要な事務・事業の概要	○障害児者補装具給付費 12,515千円																																
	身体障害児者の補装具の購入、修理に係る費用を支給																																
	※ 基準額の原則1割が自己負担であるが、身体障害児の補装具に係る自己負担分については、市の独自施策として全額公費で負担																																
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">購入</td><td colspan="2">修理</td></tr><tr><td>件数</td><td>給付費</td><td>件数</td><td>給付費</td></tr><tr><td>障害者</td><td>66件</td><td>7,655千円</td><td>28件</td><td>816千円</td></tr><tr><td>障害児</td><td>22件</td><td>3,654千円</td><td>4件</td><td>390千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>88件</td><td>11,309千円</td><td>32件</td><td>1,206千円</td></tr></table>					購入		修理		件数	給付費	件数	給付費	障害者	66件	7,655千円	28件	816千円	障害児	22件	3,654千円	4件	390千円	合計	88件	11,309千円	32件	1,206千円					
		購入		修理																													
件数		給付費	件数	給付費																													
障害者	66件	7,655千円	28件	816千円																													
障害児	22件	3,654千円	4件	390千円																													
合計	88件	11,309千円	32件	1,206千円																													
【主な給付内容】																																	
●障害児：下肢装具、車椅子、座位保持装置等				成果・課題	補装具の購入及び修理に係る費用を支給することによって、障害児者の経済的負担が軽減され、生活上の不便さの緩和や身体的条件を改善することができた。																												
●障害者：補聴器、車椅子、眼鏡、視覚障害者安全つえ等																																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	158,471千円		161,439千円	2,968千円	98.1 %			
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	07 地域生活支援事業								163,433千円
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）28,434千円					
目的		障害のある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制づくり、障害者福祉の向上を図る。			障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）14,217千円					
					小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費補助金49千円					
					ふるさと応援基金繰入金7,000千円					
主要な事務・事業の概要	○市町村必須事業95,738千円				○その他事業10,265千円					
	事業名等		決算額	延べ件数等		事業名等		決算額	延べ件数等	
	地域活動支援センター事業（3事業所）		46,363千円	利用人数：1,156人		福祉タクシー利用券・ガソリン費用助成事業等経費		4,729千円	交付者数：1,106人	
	日常生活用具給付事業		16,883千円	交付件数：1,525件		発達支援相談事業（1事業所）		4,356千円	相談件数：14件	
	障害者相談支援事業（2事業所）		18,920千円	相談件数：1,542件		福祉機器等購入費助成金		775千円	交付件数：2件	
	移動支援事業（9事業所）		7,608千円	利用時間：2,802時間		障害者自動車運転免許取得助成事業		100千円	交付件数：1件	
	※屋外での移動が困難な方への外出支援					京都府北部障害者歯科診療所運営費等補助金		206千円	患者数：33人	
	障害児通学支援事業（聾学校への通学支援）		4,954千円	利用回数：549回		小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費		99千円	交付件数：1件	
	成年後見制度利用等経費		1,010千円	利用人数：4人		○障害者相談支援事業 過去5カ年度分消費税等（2事業所）8,181千円				
	※後見人への報酬助成									
○市町村任意事業44,287千円				成果・課題	○各種障害福祉サービス事業を社会福祉法人等に委託し、総合的に支援する体制を充実させることで、サービス量の確保に努めた。 ○相談事業について、関係機関と連携を図りながら必要な支援につなげることができた。 ○各種実施事業について、ニーズに応じたサービス提供の一層の充実が図られるよう事業所と連携しながら進める必要がある。					
事業名等		決算額	延べ件数等							
障害者・児童日中一時支援事業（12事業所）		43,461千円	利用回数：8,964回							
身体障害者訪問入浴事業（1事業所）		798千円	利用回数：51回							
精神障害者社会復帰事業経費		28千円	開催回数：12回							
※歯科教室、運動教室等										

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	7,657千円		7,658千円	1千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	障害者福祉課	
	事業	08 障害者就労支援事業					7,885千円		
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	繰入金 6,000千円				
目的		障害者の就労等を支援する事業を実施し、障害者の就労促進と自立支援を図る。			ふるさと応援基金繰入金				
主要な事務・事業の概要	○障害者雇用促進リーフレット作成 5千円 商工会周知 2,300枚、関係機関等配架 200枚				○障害者施設製品販売支援事業補助金 7,500千円				
	○障害者職場実習促進事業補助金 152千円 実習を受け入れた企業や実習生のサポートを行うジョブコーチを配置する社会福祉法人及び実習生に対して奨励金を支給した。				【クリエイトショップくりくりの主な取組】				
	・福祉事業所奨励金 1社会福祉法人（30日間） 132千円				・企画展の開催 開店10周年を迎え、お客様への日頃の感謝と仲間の作った作品を知っていただき、障害者理解を広げる機会として10周年祭を開催した。また、季節ごとのイベントを企画し、集客に繋げることができた。				
	・企業等実習奨励金 1事業所（3日間） 9千円				・市内外への広報啓発の取組 新聞や市フェイスブック、ケーブルテレビ等で広報することにより、集客率アップに繋げることができた。また、ふるさと納税制度を活用し、市内外へ広く周知する取組を展開した。				
	・実習生実習奨励金 4人（33日間） 11千円								
				成果・課題	○障害者職場実習を通じて、障害者の就労意欲と職場適応能力の向上支援を行い、一般就労につなげる等障害者の自立を図ることができた。 ○常設販売店への運営支援を通じて、障害者施設製品の情報発信と障害者の就労意欲の向上の一助とすることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	7,332千円		7,397千円	65千円	99.1 %			
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	09 心のバリアフリー促進事業					8,064千円			
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			1,866千円	
目的	障害の特性を理解し、地域や職場、学校等において合理的配慮の提供や手話の普及が広がるように障害者理解の促進と啓発事業を実施し、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら、地域の一員として共生できる社会を目指す。				府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			933千円	
				府補	軽・中等度難聴児支援事業費補助金（1/2）			112千円		
主要な事務・事業の概要	○心のバリアフリー促進事業 ・「広げよう心のバリアフリー」（150冊） 障害者理解の啓発用ファイルを購入し、障害者週間の際に配付した。			21千円	○重度障害児者入院時コミュニケーション支援事業					3千円
					障害児者の入院時に、コミュニケーション支援員を派遣			派遣回数：1回		
	○手話通訳者設置事業 手話通訳専任職員を設置し、聴覚障害者等の相談支援等を実施 相談：400件、関係機関との連絡調整等の支援：160件、 啓発事業：9件、聞こえの相談会：6回			5,980千円	○全国手話言語市区長会会費					10千円
	○手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業 手話奉仕員養成事業（基礎課程） 全15回（5月19日～9月1日） 受講者：11人（10人修了）			475千円	○難聴高齢者補聴器購入費助成金					300千円
成果・課題	○手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業 聴覚言語障害者が医療機関等に出向く場合や社会活動に参加する場合等に意思疎通支援として手話通訳者等を派遣した。 派遣回数：43回			281千円	○軽・中等度難聴児補聴器購入費等助成金					262千円
					補装具費支給制度に該当しない18歳未満の児童に対する補聴器購入等の費用の一部を助成した。（助成件数：5件）					
					成果・課題	○意思疎通支援事業を委託することにより、病院等で聴覚障害者の情報保障を確保することができた。 ○平日及び日中に活動できる手話通訳者等が少なく、支援調整が困難な状況であるため、養成講座への参加促進による人材育成を図る必要がある。 ○障害者理解を更に広めていくための啓発の方法を検討していく必要がある。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	35,741千円		36,943千円	1,202千円	96.7 %			
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	50 障害者福祉一般経費					23,119千円			
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者総合支援事業費補助金			594千円	
					国委	特別児童扶養手当事務委託金			46千円	
目的	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で規定されている審査会の設置・運営のほか、障害者福祉に関する各種事業の円滑な実施のために必要な事務を行う。									
主要な事務・事業の概要	○事務費		4,901千円		○精神障害者・家族支援研修経費					10千円
	・報償金（障害者相談員謝金 14人）		409千円		・講師謝金（1回）					
	・旅費（相談員費用弁償、会議・研修等の出張旅費）		46千円		○第4次障害者計画・第7期障害福祉計画策定経費					282千円
	・需用費（消耗品費、燃料費）		171千円		・印刷製本費（第4次障害者計画・第7期障害福祉計画 400部）					
	・役務費（郵便代、クリーニング代、保険料）		94千円		○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）					2,154千円
	・委託料（システム更新及び導入、バス運転）		2,837千円		・報酬、期末手当、費用弁償、社会保険料等					
	・使用料（ソフトウェア、土地借上、有料道路）		860千円		○過年度国庫支出金返還金					10,925千円
	・備品購入費（国保連合会伝送用パソコン1台）		279千円		・介護給付・訓練等給付負担金					9,201千円
	・負担金（丹後視力障害者福祉センター後援会、端末導入補助金）		205千円		・障害者自立支援医療費負担金					565千円
	○障害者グループホーム整備補助金		15,000千円		・障害児通所給付費負担金					1,121千円
	・（福）あみの福祉会（グループホームひまわり荘1棟）		5,000千円		・地域生活支援事業費等補助金					38千円
	・（福）よさのうみ福祉会（グループホームみちのけ2棟）		10,000千円							
	○障害支援区分の認定に関する審査会運営経費		2,469千円							
	・審査会委員報酬（委員：5人、16,100円/月）		934千円		成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で定められている審査会について、利用者へのサービス提供が滞ることがないように適切に運営することができた。 ○グループホーム施設整備費補助金を交付することにより、グループホームの整備促進と障害者が安全・安心に暮らすことのできる環境の整備を図ることができた。				
・旅費（費用弁償、認定調査旅費）		35千円								
・需用費（審査会運営消耗品費）		58千円								
・役務費（審査会資料郵送代、医師意見書作成手数料）		653千円								
・委託料（障害支援区分認定調査）		741千円								
・使用料（障害支援区分調査時有料道路通行料）		48千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	4,400千円		4,400千円	0千円	100.0 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)繰越予算額	課	障害者福祉課
	事業	50 障害者福祉一般経費（繰越）					4,400千円		
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源					
目的	グループホーム整備に係る経費を支援することで、障害者のニーズに沿った安全・安心な暮らしを確保するとともに地域生活への移行を推進する。								
主要な事務・事業の概要	○障害者グループホーム整備費補助金 丹後大宮福祉会（グループホームなごみ増改築4床）		4,400千円						
				成果・課題	グループホーム施設整備費補助金を交付することにより、グループホームの整備促進と障害者が安全・安心に暮らすことのできる環境の整備を図ることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部																																				
	項	01 社会福祉費	25,497千円		25,547千円		50千円		99.8 %																																							
	目	04 高齢者福祉費							(参考)当初予算額		課	長寿福祉課																																				
	事業	01 敬老祝い事業							26,541千円																																							
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債） 15,000千円																																											
目的		高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に対して感謝するため、行政区等の団体が行う敬老祝い事業に対して補助金を交付するとともに、最高齢・長寿・米寿・喜寿の各対象者に対し、祝い品を贈呈する。																																														
主要な事務・事業の概要	喜寿（77歳）、米寿（88歳）、長寿（新100歳）及び最高齢者の方へ祝い品を贈呈するとともに、地区等主催の敬老祝い事業に対して補助金を交付した。		○敬老祝い品贈呈 1,907千円		・表彰状額縁、筆耕料 103千円		・祝い品 1,804千円		(内訳)		<table><tr><td>最高齢</td><td>長寿（新100歳）</td><td>米寿（88歳）</td><td>喜寿（77歳）</td></tr><tr><td>1人</td><td>47人</td><td>545人</td><td>972人</td></tr></table>		最高齢	長寿（新100歳）	米寿（88歳）	喜寿（77歳）	1人	47人	545人	972人																												
													最高齢	長寿（新100歳）	米寿（88歳）	喜寿（77歳）																																
													1人	47人	545人	972人																																
													○敬老祝い事業補助金 23,590千円		補助対象団体：行政区（又は2以上の地区連合体）、老人福祉施設		補助対象年齢：75歳以上（補助金2千円／人）																															
																			<table><tr><td>開催団体等</td><td>峰山</td><td>大宮</td><td>網野</td><td>丹後</td><td>弥栄</td><td>久美浜</td><td>合計</td></tr><tr><td>会開催</td><td>21</td><td>5</td><td>5</td><td>8</td><td>12</td><td>3</td><td>54</td></tr><tr><td>会非開催</td><td>13</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>3</td><td>5</td><td>66</td></tr><tr><td>老人福祉施設</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>18</td></tr><tr><td>合計</td><td>35</td><td>18</td><td>25</td><td>30</td><td>18</td><td>12</td><td>138</td></tr></table>		開催団体等	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	会開催	21	5	5	8	12	3	54	会非開催	13	10	15	20	3	5	66	老人福祉施設	1	3	5
	開催団体等	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計																																								
	会開催	21	5	5	8	12	3	54																																								
	会非開催	13	10	15	20	3	5	66																																								
	老人福祉施設	1	3	5	2	3	4	18																																								
	合計	35	18	25	30	18	12	138																																								
成果・課題		敬老事業の支援や喜寿、米寿、新100歳及び最高齢者の方に対する祝い品の贈呈を通し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表することができた。																																														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	133,789千円		134,046千円	257千円	99.8 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	02 老人保護措置事業					144,433千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金 27,114千円				
目的	原則65歳以上で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅生活の継続が困難な方を養護老人ホーム等に入所措置し、見守りのもと、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。								
主要な事務・事業の概要	老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホーム等に入所措置した。								
	○一般事務費 38千円 ・入所判定委員会開催経費 委員報償費（4千円×委員2人×3回） 24千円 費用弁償 1千円 ・入所及び退所事務手続時の職員旅費、有料道路通行料 13千円 ○養護老人ホーム等入所措置費 133,751千円 ・入所施設 養護老人ホーム満寿園ほか3施設 ・入所者数 59人（R6.3.31現在）				成果・課題	○在宅生活の継続が困難な高齢者について、在宅生活における不安の解消・生活改善を図るため、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等と連携して、入所措置につなげることができた。 ○入所待機者の生活状況等を正確に把握し、適切な入所措置を引き続き行う必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部							
	項	01 社会福祉費	5,932千円		6,078千円	146千円	97.5 %									
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課							
	事業	03 老人クラブ 活性化支援事業					6,078千円									
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 老人クラブ 助成事業費補助金（2/3） 3,071千円												
目的	老人クラブの活動に対して補助を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、高齢者の社会参加を推進する。															
主要な事務・事業の概要	老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う健康づくり事業、啓発・広報広聴事業等に対し、補助金を交付した。 ○老人クラブ活性化支援補助金 5,932千円 ・老人クラブ連合会活動促進事業費補助金 125千円 市老人クラブ連合会（1,419人）の活動に対する補助 ・老人クラブ活動費補助金 3,296千円 単位老人クラブ（72クラブ）の活動に対する補助 ・友愛訪問活動事業補助金 53千円 介護施設への慰問品配布に対する補助 ・世代間交流事業補助金 40千円 高校生と交流事業に対する補助 ・健康づくり事業補助金 520千円 各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助 ・啓発・広報広聴促進事業補助金 402千円 老人クラブ連合会の発行する広報紙に対する補助 ・老人クラブ連合会事務局員賃金補助金（1人） 1,200千円 ・老人クラブ連合会運営補助金（研修会等参加補助） 296千円				■単位老人クラブ数などの推移											
					<table><tr><th></th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><td>単位老人クラブ数</td><td>72クラブ</td><td>72クラブ</td><td>78クラブ</td></tr><tr><td>会 員 数</td><td>1,419人</td><td>1,469人</td><td>1,688人</td></tr></table>						令和5年度	令和4年度	令和3年度	単位老人クラブ数	72クラブ	72クラブ
	令和5年度	令和4年度	令和3年度													
単位老人クラブ数	72クラブ	72クラブ	78クラブ													
会 員 数	1,419人	1,469人	1,688人													
					成果・課題	○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕活動等を支援することで、健康保持及び社会貢献を目的とした各種活動の円滑な実施に寄与することができた。 ○年々会員数が減少しているため、老人クラブが行う会員拡大、加入促進の取組を引き続き支援していく必要がある。										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																												
	項	01 社会福祉費	8,615千円		8,615千円	0千円	100.0 %		課	長寿福祉課																																																											
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額																																																														
	事業	04 福祉有償運送運営助成事業					13,229千円																																																														
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（福祉有償運送運営助成事業） 2,900千円																																																																	
目的	福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。																																																																				
主要な事務・事業の概要	公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対して、移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援した。 ○福祉有償運送事業補助金 8,615千円 ※総事業費 12,636千円 － 利用料等収入 4,021千円 (総事業費内訳) ・人件費 8,020千円 ・事務費 6千円 ・事業費 4,610千円 ・実施主体：京丹後市社会福祉協議会 ・事業実績：実利用者数 81人 (R4： 84人) 延べ利用回数 4,576回 (R4： 5,337回)		■実績内訳（令和6年3月末現在） (単位：人、回)																																																																		
			<table><tr><td></td><td>区 分</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td rowspan="2">利用登録者数等</td><td>登録者数</td><td>13</td><td>20</td><td>34</td><td>8</td><td>11</td><td>44</td><td>130</td></tr><tr><td>実利用者</td><td>9</td><td>12</td><td>18</td><td>6</td><td>4</td><td>32</td><td>81</td></tr><tr><td rowspan="4">対象者延べ利用回数</td><td>高 齢 者</td><td>108</td><td>67</td><td>317</td><td>25</td><td>31</td><td>213</td><td>761</td></tr><tr><td>透 析 者</td><td>274</td><td>129</td><td>425</td><td>427</td><td>45</td><td>2,289</td><td>3,589</td></tr><tr><td>障 害 者</td><td>0</td><td>48</td><td>93</td><td>0</td><td>0</td><td>85</td><td>226</td></tr><tr><td>合 計</td><td>382</td><td>244</td><td>835</td><td>452</td><td>76</td><td>2,587</td><td>4,576</td></tr></table>									区 分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	利用登録者数等	登録者数	13	20	34	8	11	44	130	実利用者	9	12	18	6	4	32	81	対象者延べ利用回数	高 齢 者	108	67	317	25	31	213	761	透 析 者	274	129	425	427	45	2,289	3,589	障 害 者	0	48	93	0	0	85	226	合 計	382	244	835	452	76	2,587	4,576
				区 分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																																																										
			利用登録者数等	登録者数	13	20	34	8	11	44	130																																																										
				実利用者	9	12	18	6	4	32	81																																																										
			対象者延べ利用回数	高 齢 者	108	67	317	25	31	213	761																																																										
				透 析 者	274	129	425	427	45	2,289	3,589																																																										
				障 害 者	0	48	93	0	0	85	226																																																										
				合 計	382	244	835	452	76	2,587	4,576																																																										
			成果・課題 補助金の交付により、事業者が行う高齢者や障害者の日常生活の移動支援の取組の実施に寄与することができた。																																																																		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	15千円	56千円	41千円	26.7 %		
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	05 生活管理指導事業				56千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源				
目的	生活習慣などにより社会生活の適応が困難な高齢者に対して、養護老人ホーム等で短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援をすることにより、自立した生活を助長する。							
主要な事務・事業の概要	生活習慣の改善が必要など一時的に在宅生活が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等で短期間の宿泊サービスを提供した。			15千円				
	○生活管理指導委託料（2,080円×7日） ・利用者数：1人（生活保護世帯以外の世帯） ・利用日数：7日 ・利用施設：養護老人ホーム満寿園							
主要な事務・事業の概要	【事業概要】 利用対象者：概ね65歳以上、介護保険法の介護給付及び 予防給付の対象にならない方 利用者負担：1日につき1,730円（生活保護世帯を除く）を、 直接、委託事業所に納付			成果・課題	一時的に在宅生活が困難な高齢者に対して、短期宿泊サービスを提供することを通じて生活習慣や体調管理を行うことで、自立した生活を継続できるよう支援することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	9,975千円		13,260千円	3,285千円	75.2 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	06 介護サービス利用負担軽減事業					13,260千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 介護保険事業費補助金（3/4） 7,481千円					
目的	介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に対して助成金を交付し、利用者負担軽減制度の円滑な実施を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	低所得で生計の維持が困難である者が介護保険サービスを利用した際の利用者負担額の軽減を行った社会福祉法人等へその一部を助成した。								
	○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 9,975千円 助成金交付法人数：15法人 利用者負担軽減対象者数：延べ342人				成果・課題	低所得で生計が困難な要介護者等が、介護サービス費等の負担軽減を受けられるように社会福祉法人等を支援することで、高齢者福祉の増進を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	8,873千円		8,873千円	0千円	100.0 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	07 高齢者福祉施設整備助成事業					8,873千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的		社会福祉法人の施設整備に係る借入金の返済の一部を補助し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。							
主要な事務・事業の概要	介護が必要になった高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、社会福祉法人の拠点施設の整備に係る債務の償還金額の一部について補助を行った。 ・ 補助対象：社会福祉法人が整備する社会福祉施設に係る事業 平成28年度までの借りに係るもの ・ 補助内容：整備に係る資金の元金又は利子の一部								
			成果・課題	資金借入により基盤整備を行った社会福祉法人に対し、借入金の返済の一部を補助することにより、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図ることができた。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	8,345千円		8,709千円	364千円	95.8 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	08 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業					8,709千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	使用料 網野高齢者すこやかセンター使用料 3,206千円					
目的	在宅の高齢者に対して生きがいや健康づくりの場として、サークル活動などの会場及び入浴施設の提供を図る。								
主要な事務・事業の概要	在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。								
	○施設管理業務委託料 3,109千円 委託先：木津連合区								
	○施設維持管理経費 5,236千円								
	・需用費（消耗品費及び燃料費、光熱水費、修繕料） 5,001千円								
	・役務費（電話代、火災保険料等） 113千円								
	・消防設備等保守点検委託料 13千円								
	・ボイラー保守点検委託料 77千円								
	・備品購入費（レジスター） 32千円								
	■年間施設利用者数（延べ人数）				成果・課題	○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者の生きがいや健康づくりに貢献することができた。 ○利用者の増加等による収入の増加を図るなど、より一層の効果的・効率的な運営に努めていく必要がある。			
		令和5年度	令和4年度	令和3年度					
入浴利用者数		16,136 人	15,331 人	13,180 人					
貸館利用者数		2,138 人	2,264 人	1,910 人					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費					99.4 %		
	目	04 高齢者福祉費	1,051,419千円		1,057,591千円	6,172千円	(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	09 介護保険事業特別会計繰出金					1,074,962千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国負	介護保険低所得者保険料軽減負担金（1/2）			48,342千円
					府負	介護保険低所得者保険料軽減負担金（1/4）			24,171千円
目的	介護保険法で定められた費用及び事務費相当分を負担することで、介護保険事業特別会計の円滑な運営を図る。								
主要な事務・事業の概要	介護保険事業を円滑に推進するため、介護給付費の公費相当分、事務費相当分、地域支援事業費分及び低所得者保険料軽減相当分について、一般会計から繰り出しを行った。								
	○介護給付費公費相当分		769,896千円						
	○地域支援事業費		101,394千円						
	・介護予防事業費分		77,292千円						
	・包括的支援事業・任意事業費分		17,844千円						
	（地域包括支援センター事業ほか）								
	・包括的支援事業・社会保障充実分		6,258千円						
	（認知症地域支援・ケア向上事業ほか）								
	○事務費分		80,085千円						
	・一般事務費（一般管理費、賦課徴収費、趣旨普及費）		10,205千円						
・認定事務費（介護認定審査会費、認定調査等費）		69,880千円							
○低所得者保険料軽減繰出金		100,044千円							
				成果・課題					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	68,000千円		68,000千円	0千円	100.0 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	10 介護サービス事業特別会計繰出金					68,000千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的	介護サービス事業特別会計へ繰出金を支出することにより、京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ及び京丹後市網野デイサービスセンターの安定した運営を図る。								
主要な事務・事業の概要	○介護サービス事業特別会計繰出金		68,000千円		・京丹後市網野デイサービスセンター				
	【参考】介護サービス事業の収支（①+②）		△ 76,210千円						
	・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ								
	歳入	項目	金額		歳入	項目	金額		
		使用料及び手数料	26千円			サービス収入	55,282千円		
		諸収入	869千円			府支出金	143千円		
		市債	9,100千円			諸収入	97千円		
		計	9,995千円			計	55,522千円		
	歳出	施設管理費	11,564千円		歳出	施設管理費	13,492千円		
		公債費	68,254千円			サービス事業費	48,396千円		
		計	79,818千円			公債費	21千円		
		収 支 ①	△ 69,823千円			計	61,909千円		
				収 支 ②		△ 6,387千円		成果・課題	

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																							
	項	01 社会福祉費	3,928千円		3,928千円	0千円	100.0 %																									
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																							
	事業	11 福祉施設等指定管理施設運営事業					4,278千円																									
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債） 2,000千円																												
目的	民間の強みや特性を活かした指定管理者の管理運営により、利用者へ質の高い多様なサービスを提供するとともに、地域に根差した高齢者の拠点施設機能を果たすことを目的とする。																															
主要な事務・事業の概要	高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の管理運営を円滑に行うための経費を支出した。																															
	○指定管理委託料 3,868千円																															
	<table><tr><th rowspan="2">施設名称</th><th rowspan="2">委託料</th><th colspan="3">延べ利用者数</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><td>網野社会参加交流ハウス</td><td>1,783千円</td><td>9,353人</td><td>8,114人</td><td>5,691人</td></tr><tr><td>弥栄生きがい交流センター</td><td>2,085千円</td><td>552人</td><td>790人</td><td>776人</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,868千円</td><td>9,905人</td><td>8,904人</td><td>6,467人</td></tr></table>									施設名称	委託料	延べ利用者数			令和5年度	令和4年度	令和3年度	網野社会参加交流ハウス	1,783千円	9,353人	8,114人	5,691人	弥栄生きがい交流センター	2,085千円	552人	790人	776人	合計	3,868千円	9,905人	8,904人	6,467人
	施設名称	委託料										延べ利用者数																				
										令和5年度	令和4年度	令和3年度																				
網野社会参加交流ハウス	1,783千円	9,353人	8,114人	5,691人																												
弥栄生きがい交流センター	2,085千円	552人	790人	776人																												
合計	3,868千円	9,905人	8,904人	6,467人																												
○建物火災保険料 60千円																																
	成果・課題		高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進を図ることができた。																													

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部													
	項	01 社会福祉費	19,250千円		19,250千円	0千円	100.0 %		課	長寿福祉課												
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額															
	事業	15 高齢者福祉施設整備事業					0千円															
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補 地域介護・福祉空間整備等交付金（10/10） 19,250千円																		
目的	非常用自家発電設備の整備、老朽化に伴う大規模修繕に係る経費を支援することで、介護施設における利用者の安全・安心の確保、防災・減災対策を推進する。																					
主要な事務・事業の概要	○地域介護・福祉空間施設整備費補助金 補 助 率：10/10（国10/10） 対象施設：認知症高齢者グループホーム、 小規模多機能型居宅介護事業所等 ・ 非常用自家発電設備の設置		19,250千円 14,410千円 （単位：千円）		・ 老朽化に伴う大規模修繕 4,840千円 （単位：千円）																	
					<table><tr><th>対象施設名</th><th>事業概要</th><th>事業費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>グループホームもみじ</td><td>エアコンの更新（13台）</td><td>4,840</td><td>4,840</td></tr></table>				対象施設名	事業概要	事業費	補助金額	グループホームもみじ	エアコンの更新（13台）	4,840	4,840						
					対象施設名	事業概要	事業費	補助金額														
					グループホームもみじ	エアコンの更新（13台）	4,840	4,840														
<table><tr><th>対象施設名</th><th>事業概要</th><th>事業費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>高齢者グループホーム いわきの里</td><td>非常用自家発電設備の整備（1台）</td><td>6,930</td><td>6,930</td></tr><tr><td>小規模多機能施設 間人あさばの里</td><td>非常用自家発電設備の整備（1台）</td><td>7,480</td><td>7,480</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>14,410</td><td>14,410</td></tr></table>		対象施設名	事業概要	事業費	補助金額	高齢者グループホーム いわきの里	非常用自家発電設備の整備（1台）	6,930	6,930	小規模多機能施設 間人あさばの里	非常用自家発電設備の整備（1台）	7,480	7,480	計		14,410	14,410					
対象施設名	事業概要	事業費	補助金額																			
高齢者グループホーム いわきの里	非常用自家発電設備の整備（1台）	6,930	6,930																			
小規模多機能施設 間人あさばの里	非常用自家発電設備の整備（1台）	7,480	7,480																			
計		14,410	14,410																			
成果・課題	非常用自家発電設備の整備、老朽化に伴う大規模修繕に係る経費を支援することで、介護施設における利用者の安全・安心の確保、防災・減災対策を推進することができた。																					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部												
	項	01 社会福祉費	19,050千円		19,050千円	0千円	100.0 %														
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課												
	事業	16 シルバ－人材センター運営助成事業					19,050千円														
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																	
目的	シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の確保をはじめ、就業及びボランティア活動等による高齢者の社会参加を図り、地域の活性化と福祉の向上を目指す。																				
主要な事務・事業の概要	シルバー人材センターへ運営費を支援することにより、定年退職者等の地域に密着した就業機会の確保、また高齢者の生きがいの充実や社会参加の機会確保を図る。																				
	○シルバー人材センター運営費補助金 19,000千円																				
	【事業概要】労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等																				
	<table><tr><td></td><td>令和5年度末</td><td>令和4年度末</td><td>令和3年度末</td></tr><tr><td>正会員数</td><td>694人</td><td>682人</td><td>692人</td></tr><tr><td>就業延べ人員</td><td>60,378人</td><td>62,464人</td><td>66,276人</td></tr><tr><td>受注件数</td><td>4,322件</td><td>4,582件</td><td>4,737件</td></tr><tr><td>契約金額</td><td>322,744千円</td><td>309,477千円</td><td>299,863千円</td></tr></table>										令和5年度末	令和4年度末	令和3年度末	正会員数	694人	682人	692人	就業延べ人員	60,378人	62,464人	66,276人
	令和5年度末	令和4年度末	令和3年度末																		
正会員数	694人	682人	692人																		
就業延べ人員	60,378人	62,464人	66,276人																		
受注件数	4,322件	4,582件	4,737件																		
契約金額	322,744千円	309,477千円	299,863千円																		
○京都府シルバー人材センター協会賛助会員会費 50千円																					
		成果・課題	○補助金の交付により、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の機会確保に繋ぐことができた。 ○高齢者の健康維持や福祉の増進だけでなく、生活支援の担い手として活躍していただけるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていくとともに、会員確保に向けた取組を進めていく必要がある。																		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	419千円		691千円	272千円	60.6 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	17 百才活力社会推進事業					1,135千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	諸収入 京丹後市百寿人生のレシピ 販売代金 55千円				
目的	百歳になってもそれぞれの才能を活かして、学習や趣味、仕事、ボランティアなど、やりたい分野で生涯現役で活躍できる「百才活力社会」の実現に向けた取組を進める。								
主要な事務・事業の概要	【所管：長寿福祉課】 〈働くシニア応援プロジェクトの実施〉 シルバー人材センター等の関係機関と連携し、元気な高齢者の生きがいづくりと健康を増進するとともに、高齢者の就業機会の確保による企業等の人材不足の解消、地域活動への参画等を促進することにより、百才活力社会の推進及び地域の活性化を図る。 ○百才活力社会推進事業委託料 226千円 【開催日】令和5年10月1日（日） 【場所】峰山総合福祉センター 【内容】 ① いきいきシニア講演会 テーマ：人生100年時代 働く門には福来たる ～長寿社会を楽しく働き、美しく生きるための極意～ 講師：キャリアコンサルタント 安藤ゆかり氏 参加者：55人 ② シニア就職相談会 京丹後市シルバー人材センター、ハローワーク峰山、北京都ジョブパークがブースを設けて就職相談を実施。 参加者：8人				【所管：健康推進課】 〈「京丹後百寿人生のレシピ」の増刷〉 ○印刷製本費 193千円 「～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ（第1版）」の増刷（500部）				
					成果・課題	○講演会と就職相談会の開催により、高齢者の生きがいづくりや健康増進のきっかけとするとともに、高齢者の就業機会の確保に寄与することができた。 ○「京丹後百寿人生のレシピ」を増刷し、「長寿のまち」を市内外に広く発信することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																
	項	01 社会福祉費	2,474千円		2,625千円	151千円	94.2 %		課	長寿福祉課															
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額																		
	事業	18 高齢者外出支援事業					4,125千円																		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	諸収入 高齢者外出支援タクシーチケット販売代金 1,380千円																					
目的	高齢者（満75歳以上）の外出支援及び公共交通機関の利用促進、交通空白地の解消を図るため、実証実験として2種類のタクシー代割引チケットの販売を行う。																								
主要な事務・事業の概要	チケットの種類：各チケット1人2冊まで購入可 ① 通常外出支援用（1冊4,000円綴りを2,000円で販売） 病院、買い物、公共機関等へ行く際のタクシー運賃の支払いに利用できるチケット ② 公共交通利用促進用（1冊2,000円綴りを1,000円で販売） 自宅と最寄りのバス停の移動（片道又は往復）に係るタクシー運賃の支払いに利用できるチケット 対 象 者：満75歳以上の方 使 用 期 限：購入日から1年間 販 売 期 間：令和5年4月1日～令和6年3月31日 販 売 場 所：長寿福祉課又は各市民局（峰山市民局は除く）			○消耗品費 48千円																					
				○高齢者外出支援助成金 2,426千円 【内訳】 ・通常外出支援 2,423千円 ・公共交通利用促進用 3千円																					
				■チケットの販売・使用状況（令和6年3月31日現在）																					
				<table><tr><td>チケット種類</td><td>販売金額</td><td>販売枚数</td><td>使用数</td><td>使用率</td></tr><tr><td>通常外出支援用</td><td>1,379千円</td><td>6,892枚</td><td>6,039枚</td><td>87.62%</td></tr><tr><td>公共交通利用促進用</td><td>2千円</td><td>10枚</td><td>7枚</td><td>70.00%</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,381千円</td><td>6,902枚</td><td>6,046枚</td><td>87.60%</td></tr></table>						チケット種類	販売金額	販売枚数	使用数	使用率	通常外出支援用	1,379千円	6,892枚	6,039枚	87.62%	公共交通利用促進用	2千円	10枚	7枚	70.00%	合 計
チケット種類	販売金額	販売枚数	使用数	使用率																					
通常外出支援用	1,379千円	6,892枚	6,039枚	87.62%																					
公共交通利用促進用	2千円	10枚	7枚	70.00%																					
合 計	1,381千円	6,902枚	6,046枚	87.60%																					
			成果・課題	実証実験の結果、住民税非課税世帯の方や要介護認定を受けておられる方の利用が多く、外出や社会参加の促進に寄与することができた。																					

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	6,710千円		7,067千円	357千円	94.9 %			
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課	
	事業	50 高齢者福祉一般経費					7,780千円			
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源						
目的	高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に実施する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助1人）		2,429千円		○委託料					2,892千円
	○需用費		442千円		・自家用電気工作物保安管理業務委託料（旧松風苑分）					159千円
	・消耗品費（事務用品）		35千円		・測量委託料（旧松風苑敷地の境界確定）					2,626千円
	・光熱水費（旧松風苑分）		249千円		・旧松風苑施設管理委託料（草刈り、庭木剪定等）					107千円
	・修繕料（旧松風苑分）		158千円		○使用料及び賃借料					518千円
	○役務費		384千円		・土地借上料（グループホームかえで用地賃借料）					438千円
	・火災保険料		60千円		・土地借上料（浜詰ふれあいセンター用地賃借料）					80千円
	・総合賠償補償保険料（認知症あんしん補償事業）		316千円		○償還金、利子及び割引料					45千円
	加入者数：120人（令和5年度末時点：103人）				・過年度府支出金返還金（地域密着型サービス等整備等助成事業補助金）					
	・通信運搬費（郵送料）		6千円							
	・手数料（水道閉栓手数料（旧松風苑分）ほか）		2千円							
					成果・課題	○高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に進めることができた。 ○認知症あんしん補償事業により、認知症高齢者等及びその家族が地域で安心して生活することができる環境整備に寄与することができた。 ○老人福祉センターとしての機能を廃止した旧松風苑について、今後の利活用について検討していく必要がある。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																					
	項	03 生活保護費	65,234千円		65,615千円	381千円	99.4 %																																																							
	目	01 生活保護総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																																																					
	事業	02 生活保護運営管理事業								18,897千円																																																				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負 生活困窮者自立支援負担金（3/4） 3,902千円																																																									
目的		生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適切に運用する。			国補 生活困窮者自立支援補助金（1/2、3/4） 3,359千円																																																									
					国補 社会保障・税番号制度システム整備費等補助金（10/10） 834千円																																																									
					諸収入 一時支援資金貸付金元金収入 400千円																																																									
主要な事務・事業の概要	生活保護受給者の自立支援を目的に、よりきめ細かな相談を行うための面接相談員の設置、自立支援プログラムに基づく就労支援や健康管理支援を行ったほか、手持金の少ない生活保護申請者に対し、一時的な生活資金の貸付を行った。 ○生活保護嘱託医報酬（1人） 980千円 ○就労支援員任用経費(報酬等)（1人 週4日） 2,598千円 ○健康管理支援員任用経費(報酬等)（1人 週3日） 2,161千円 ○面接相談員任用経費(報酬等)（1人 週4日） 2,709千円 ○生活保護申請者への一時支援資金貸付金（16件） 415千円 ○レセプト管理システムサービス利用料 528千円 ○生活保護システム更新（5年毎の定期更新、クラウド移行） 2,244千円 ○訪問支援等サービス利用料（タブレット端末の情報利用） 1,225千円 ○生活保護システムサービス利用料 2,983千円 ○生活保護システム改修（基準改定、統計調査項目追加） 2,506千円 ○医療扶助適正実施経費（レセプト点検委託料） 80千円 ○医療扶助・介護扶助審査手数料 332千円 ○過年度国庫支出金返還金（生活保護費負担金等） 44,391千円 ○その他の経費（旅費、需用費等） 554千円				○医療扶助オンライン資格確認システム導入等経費 1,528千円																																																									
					・レセプト管理システム改修費 704千円																																																									
					・レセプト管理システム新サービス利用料 660千円																																																									
					・専用端末ノートパソコン購入費（1台） 110千円																																																									
					・ネットワーク通信及びその他経費 54千円																																																									
					<table><tr><td></td><td>被保護世帯数</td><td>被保護人員</td><td>保護率</td><td>面接相談件数</td><td>申請件数</td><td>開始件数</td><td>却下取下げ</td><td>廃止件数</td></tr><tr><td>R元</td><td>376世帯</td><td>525人</td><td>10.2‰</td><td>131件</td><td>64件</td><td>49件</td><td>12件</td><td>36件</td></tr><tr><td>R2</td><td>364世帯</td><td>501人</td><td>9.9‰</td><td>115件</td><td>45件</td><td>37件</td><td>10件</td><td>48件</td></tr><tr><td>R3</td><td>360世帯</td><td>478人</td><td>9.7‰</td><td>122件</td><td>47件</td><td>35件</td><td>12件</td><td>41件</td></tr><tr><td>R4</td><td>356世帯</td><td>488人</td><td>10.1‰</td><td>132件</td><td>54件</td><td>43件</td><td>11件</td><td>45件</td></tr><tr><td>R5</td><td>356世帯</td><td>475人</td><td>10.0‰</td><td>156件</td><td>66件</td><td>53件</td><td>10件</td><td>52件</td></tr></table>					被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下取下げ	廃止件数	R元	376世帯	525人	10.2‰	131件	64件	49件	12件	36件	R2	364世帯	501人	9.9‰	115件	45件	37件	10件	48件	R3	360世帯	478人	9.7‰	122件	47件	35件	12件	41件	R4	356世帯	488人	10.1‰	132件	54件	43件	11件	45件	R5	356世帯	475人	10.0‰	156件	66件	53件	10件	52件
						被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下取下げ	廃止件数																																																	
					R元	376世帯	525人	10.2‰	131件	64件	49件	12件	36件																																																	
					R2	364世帯	501人	9.9‰	115件	45件	37件	10件	48件																																																	
					R3	360世帯	478人	9.7‰	122件	47件	35件	12件	41件																																																	
					R4	356世帯	488人	10.1‰	132件	54件	43件	11件	45件																																																	
					R5	356世帯	475人	10.0‰	156件	66件	53件	10件	52件																																																	
	※保護率=被保護人員/京丹後市人口、単位は1/1,000の‰（各年度3月末現在）																																																													
成果・課題	○生活保護法に基づく事務を適正に行い、円滑な生活保護支給事業の運営ができた。 ○今後も、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立助長を進めるとともに、レセプト管理システムの活用等により、支給額の大きい医療扶助費の適正化に努める必要がある。 ○医療扶助オンライン資格確認のためのシステムが導入できたことにより、医療機関受診時にマイナンバーカードの保険証利用が可能になり、利便性の向上につながった。																																																													

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	03 生活保護費	2,750千円		2,750千円	0千円	100.0 %		
	目	01 生活保護総務費					(参考)繰越予算額	課	生活福祉課
	事業	02 生活保護運営管理事業（繰越）					2,750千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 社会保障・税番号制度システム整備費等補助金（10/10） 2,750千円				
目的		生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適切に運用する。							
主要な事務・事業の概要	○システム改修委託料 2,750千円 市が資格情報・医療券情報等を社会保険診療報酬支払基金に情報提供するための生活保護システム改修を行った。								
					成果・課題	医療扶助オンライン資格確認のためのシステムが導入できたことにより、医療機関受診時にマイナンバーカードの保険証利用が可能となり、被保護者の利便性の向上と医療扶助事務の効率化を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費				本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部			
	項	03 生活保護費				660,441千円		663,305千円		2,864千円		99.5 %						
	目	02 生活保護扶助費										(参考)当初予算額		課	生活福祉課			
	事業	01 生活保護費支給事業										713,258千円						
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進				主な財源	国負		生活保護費負担金（3/4）						529,006千円			
目的		生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するための経済的援助を行うとともに、自立のための支援を行う。					府負		生活保護費負担金（府費負担となる扶助費支給額の1/4）						234千円			
							諸収入		生活保護費返還金						2,718千円			
							諸収入		生活保護費徴収金						25千円			
							諸収入		生活保護費認定徴収金						191千円			
主要な事務・事業の概要	生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。						○扶助費										660,441千円	
	【生活保護世帯の状況】※各年度末の数値（単位：世帯、人）						【生活保護費の支給状況】（単位：千円）											
			R元	R2	R3	R4	R5		R元	R2	R3	R4	R5					
	峰山	世帯数	108	113	114	108	108	生活扶助費	180,701	176,973	167,413	160,444	165,266					
		人数	153	157	150	146	136	住宅扶助費	87,059	90,133	88,957	83,425	87,003					
	大宮	世帯数	58	57	59	64	70	教育扶助費	4,236	3,209	2,458	2,151	2,294					
		人数	77	75	76	76	81	介護扶助費	17,288	18,997	14,797	14,297	12,512					
	網野	世帯数	118	112	106	97	97	医療扶助費	441,545	471,788	428,045	403,542	385,049					
		人数	159	153	145	144	146	生業扶助費	4,225	4,429	4,156	4,602	3,023					
	丹後	世帯数	27	24	23	23	18	施設事務費	5,792	4,317	3,473	6,011	4,160					
人数		40	36	34	33	26	葬祭扶助費等	2,368	2,173	2,880	1,252	1,134						
弥栄	世帯数	26	25	25	24	22	合計	743,214	772,019	712,179	675,724	660,441						
	人数	41	38	33	32	27	成果・課題											
久美浜	世帯数	39	33	33	40	41												
	人数	55	42	40	57	59												
合計	世帯数	376	364	360	356	356												
	人数	525	501	478	488	475												

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	1,428千円		1,606千円	178千円	88.9 %		
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	02 保健センター管理運営事業					931千円		
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源						
目的	総合検診、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センターを適切に管理し、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○大宮保健センター（利用件数：9件、利用人数：134人） ・燃料費（ガス） ・備品購入費（除湿機更新4台）				187千円 33千円 154千円	○弥栄保健センター（利用件数：12件、利用人数：84人） ※維持管理経費は弥栄庁舎管理事業から支出			
	○網野保健センター（利用件数：35件、利用人数：251人） ・燃料費（ガス） ・光熱水費（電気・水道） ・施設修繕費（点字ブロック修繕） ・火災保険料 ・施設清掃委託料 ・備品購入費（調理室内エアコン更新1台）				1,237千円 26千円 578千円 77千円 5千円 152千円 399千円	○久美浜保健センター（利用件数：7件、利用人数：128人） ※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出			
主要な事務・事業の概要	○保健センター管理経費 ・消耗品費				4千円 4千円				
	○丹後保健センター（利用件数：4件、利用人数：70人） ※維持管理経費は丹後庁舎管理事業から支出				成果・課題	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、健康増進の拠点として貢献することができた。			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	401千円		533千円	132千円	75.2 %		
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	03 自殺対策事業					533千円		
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	府補 自殺対策事業補助金（5/6、1/2、2/3）255千円					
目的	「第2次京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロを目指し、地域の中で悩んでいる人に気づき、見守り支援者を養成するとともに、普及啓発、自殺未遂者・自死遺族支援等の自殺対策の取組を推進する。								
主要な事務・事業の概要	・地域におけるネットワークの強化 第2次自殺のないまちづくり行動計画の進捗管理及び第3次自殺のないまちづくり行動計画の検討も含め実施。 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会（①7月7日、②令和6年2月2日実施） 京丹後市自殺ゼロ推進連絡会議（①6月5日実施、②令和6年1月に書面会議） ・自殺対策を支える人材の育成 こころ・いのち・つなぐ手研修会（ゲートキーパー研修会） 年8回、延べ参加者146人 ・市民への啓発と周知 啓発グッズの窓口配架：市民局・公民館・商業施設等 延べ3回 1,914部 商業施設での街頭啓発：9・3月に計5か所で実施 配布数 495部 ・生きるための相談、支援体制の充実、関係機関との連携 こころの健康相談日：月1回 実相談者数 14人 延べ相談者数 34人 ・児童、生徒への自殺対策の推進 SOSの出し方や相談窓口を掲載したクリアファイル及びリーフレットを作成・配付（小6、中3、高3年生 計1,199人）				○京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会・第3次自殺のないまちづくり行動計画策定 46千円				
					・旅費 22千円 ・消耗品費 18千円 ・通信運搬費 6千円 ○こころ・いのち・つなぐ手養成講座（ゲートキーパー養成講座） 216千円 ・報償費（講師謝金4回、費用弁償） 157千円 ・消耗品費 59千円 ○市民への啓発と周知（街頭啓発など） 71千円 ・消耗品費（用紙代・コピー代・事務用品） 53千円 ・印刷製本費（ポケットティッシュ用リーフレット作成） 18千円 ○若年層支援事業 68千円 ・消耗品費（メッセージファイル・チラシ代） 68千円				
成果・課題	○自殺予防週間の9月、自殺対策強化月間の3月に街頭啓発を実施した。 ○自殺の危険性が高い人の早期発見・早期対応を図るため実施している「こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会」では、中級講座を実施し傾聴ボランティア等、地域で見守る支援者を養成・育成することができた。 ○令和5年の自殺者数は令和4年より5人減少し7人であった。今後も自殺の要因等について調査・分析を継続し、自殺対策を総合的に実施し自殺者ゼロを目指す。								

予算科目	款	O4 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部			
	項	O1 保健衛生費	5,670千円		5,671千円	1千円	99.9 %		課	健康推進課		
	目	O1 保健衛生総務費					(参考)当初予算額					
	事業	O4 新型コロナウイルス感染症支え合い基金					2千円					
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入 新型コロナウイルス感染症支え合い基金利子収入 51千円							
目的		新型コロナウイルス感染症による市民生活、経済活動への影響に対し、感染症予防対策及び地域経済対策等に資することを目的に設置した「新型コロナウイルス感染症支え合い基金」への積立金			寄附金 ふるさと応援寄附金 5,619千円							
主要な事務・事業の概要	○新型コロナウイルス感染症支え合い基金積立金 5,670千円				【参考】令和5年度活用額：24,000千円							
	・ふるさと応援寄附金263件分 5,619千円				主な活用事業							
	・運用利子分 51千円				・感染症予防対策事業（感染症対策物品購入等） 6,000千円							
					・中小企業緊急雇用調整助成金 5,000千円							
								・金融支援事業 13,000千円				
（参考）基金の状況				（単位：千円）								
令和4年度末 現 在 高		令和5年度中増減額			令和5年度末 現 在 高							
①		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	①-②+③+④							
125,450		24,000	51	5,619	107,120							
※新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行したこと等により、新型コロナウイルス感染症支え合い基金は令和6年3月31日をもって廃止。 基金の残額は、ふるさと応援基金に引き継ぐ。									成果・課題			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	15,179千円		15,456千円	277千円	98.2 %		課	健康推進課
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額			
	事業	50 保健衛生総務一般経費					9,880千円			
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金（10/10）				28千円	
目的	各種保健事業の円滑な実施のために必要な事務を行い、市民の健康の増進を図る。			府補	骨髓ドナ-助成事業補助金（1/2）				70千円	
				諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金				179千円	
主要な事務・事業の概要	○予防接種健康被害調査委員会（報酬、旅費等）		29千円		○返還金					2,510千円
	・開催1回（Zoom併用）、請求：1件				・過年度母子保健衛生費国庫補助金返還金					1,017千円
	○会計年度任用職員任用経費（保健師3人）		9,147千円		・過年度感染症予防事業等国庫補助金返還金					1千円
	・産休育休代替保健師報酬、期末手当、交通費、保険料等				・過年度長寿・健康増進事業費補助金返還金					1,492千円
	○研修旅費（保健師協議会、新人保健師研修会等）		143千円		成果・課題					○会計年度任用職員を任用することにより、保健事業を円滑に実施することができた。 ○研修会等への参加により、専門職である保健師や栄養士に必要な知識を得ることができた。
	○駐車場・有料道路通行料		11千円							
	○消耗品費		126千円							
	○医療材料費		7千円							
	○廃家電処理手数料		16千円							
	○骨髓ドナ-助成金（1件）		140千円							
	○負担金		3,050千円							
	・京都府栄養士会負担金		29千円							
	・京都府市町村保健師協議会負担金		36千円							
	・市町村栄養士研究会負担金		4千円							
	・健康管理システム共同利用負担金		1,781千円							
	・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金		1,200千円							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	777千円		895千円	118千円	86.8 %			
	目	02 保健対策費					(参考)当初予算額	課	健康推進課	
	事業	01 健康づくり・食育推進事業					1,072千円			
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）				200千円	
				府補	消費・安全対策交付金（1/2）				141千円	
目的	健康づくり推進員、食生活改善推進員の育成や養成を行い、健康づくりや食育の普及啓発にかかる地域活動等を支援することにより、市民主体の健康づくり及び生涯を通じた食育を推進する。 また、「歩いてすすめる健康づくり」を幅広い年齢層に普及・啓発する。			諸収入	後期高齢者医療広域連合連携強化事業補助金				18千円	
主要な事務・事業の概要	<健康づくり事業>		432千円		○食改員による地域での伝達講習会（4回）					
	①健康づくり推進員事業（第7期健康づくり推進員の育成・活動支援）				・食生活改善推進員謝金					24千円
	・健康運動指導士謝金（3回）		22千円		○子どもクッキング（小学校低学年3回・高学年1回）					
	・歯科衛生士謝金（2回）		12千円		・栄養士謝金					24千円
	・健康づくり推進員活動謝金（3千円×44人）		132千円		・通信運搬費（案内郵送代）					8千円
	・通信運搬費（研修会等案内郵送代）		29千円		・消耗品費（案内用紙代ほか）					4千円
	・消耗品費		35千円		②施策の方向Ⅱ「地産地消・食文化」					
	*第7期健康づくり推進員人数 合計44人				○食文化伝承推進事業（15回）					180千円
	②歩いてすすめる健康づくり（Let'sチャレンジウォーキングの開催）				・食生活改善推進員謝金					
	参加者：延べ716人、実施期間：前期R5.5.1～6.30、後期R5.10.1～11.30）				○食育推進ネットワーク（関係機関・13団体、庁内7課で構成）					1千円
・印刷製本費（チャレンジカード 500枚）		37千円		・通信運搬費（会議案内代）						
・消耗品費（ウォーキング啓発物品購入ほか）		165千円		○お魚料理教室（小学校5年生）6回【所管：海業水産課】					47千円	
<食育推進事業>				・消耗品費（材料代ほか）						
	①施策の方向Ⅰ「共食・朝ごはん・食事バランス」		345千円		成果・課題	○健康づくり推進員活動はサザエさん体操の更なる普及を目的にチームを結成し、丹後万博2023や敬老会等で活動し普及することができた。				
	○食生活改善推進員の養成（講座6回、修了者14人）					○Let's チャレンジウォーキングにアプリを導入し、デジタルポイント事業と連携し参加者が増加したが、健康増進計画目標には一部達していないため、引き続き参加者の増加を図る必要がある。（20～64歳女性目標8,500歩：実績6,087歩、65歳以上女性目標6,000歩：実績5,890歩）				
	・消耗品費（材料代ほか）		14千円			○学校・地域における食育の普及啓発や市民の食育支援は食生活改善推進員を中心に普及啓発することができた。				
	・通信運搬費（テキスト代送料）		3千円							
	○食改員の育成及び研修 各支部研修5回									
・消耗品費（研修会材料代ほか）		40千円								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	1,217千円		1,351千円	134千円	90.0 %		
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	01 健康相談・指導事業					1,351千円		
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	府補 健康増進事業費等補助金（2/3） 213千円					
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に、健康に関する知識の普及啓発及び健康相談・健康教育を行い、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	健康相談・保健及び栄養指導を実施し、市民の健康増進や疾病予防を推進した。								
	○検診結果報告会 1,097千円 実施期間：令和5年6月28日～令和5年10月6日（42日間） 6会場、施設及び健康推進課窓口で、881人に個別指導を実施。 ・消耗品費（用紙、パンフレット等） 112千円 ・印刷製本費（各種封筒等） 173千円 ・通信運搬費（結果郵送代） 812千円			○健康づくり講演会 83千円 開催日：令和5年9月10日 場所：アグリセンター大宮 内容：「百歳活力社会の推進に向けた”腸”から始まる健康づくり」 参加者数：64人 ・講師謝金 43千円 ・消耗品費（用紙代等） 40千円					
	○生活習慣病重症化予防対策事業（対象者220人） 33千円 ・消耗品費（パンフレット等） 15千円 ・通信運搬費 18千円								
	○骨密度測定器を活用した個別健康相談（3人） 4千円 ・消耗品費 4千円			成果・課題 ○結果報告会では、対象者に個別の保健・栄養指導を実施し、生活習慣病予防を推進することができた。重症化予防については、専門医等と更なる連携が必要である。 ○要医療判定の方、がん検診要精密検査の方に受診勧奨を行い、受療行動につながった。 ○健康づくり講演会では、長寿健診のコホート研究に携わっている医師の講演を行い身近な健康づくりについて啓発することができた。					

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	111,762千円		111,774千円	12千円	99.9 %		課	健康推進課
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額			
	事業	03 総合検診事業					131,140千円			
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	感染症予防事業等補助金（1/2）			21千円	
目的		がんや疾病を早期発見するとともに、健康意識の向上や生活習慣の改善につなげることで、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。	府補		健康増進事業費等補助金（1/2又は10/10）			2,829千円		
			繰入金		ふるさと応援基金繰入金			20,000千円		
			繰入金		再編交付金事業基金繰入金			20,000千円		
			諸収入		後期高齢者医療保健事業補助金			7,684千円		
			諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業費補助金			85千円			
主要な事務・事業の概要	健康診査と各種がん検診を同時に受けることのできる総合検診として、地域の体育館等で実施した。				○事業費					111,762千円
	【実施期間】 令和5年5月17日～8月18日（11会場：39日間）				・消耗品費（資料等用紙代、熱中症対策物品など）					65千円
	【検診項目及び受診者数】				・燃料費（送迎車ガソリン代）					3千円
					・印刷製本費（申込書、検診案内チラシ、案内等封筒）					379千円
					・通信運搬費（申込書、受診票、精検未受診者勧奨通知など）					1,349千円
					・検診委託料					109,475千円
					・バス運転委託料					24千円
					・総合検診会場設営委託料					466千円
					・駐車場使用料					1千円
					成果・課題	○要精密検査者には、個別面談や電話での受診確認、書面による受診勧奨を行い、医療につなげることで、がんの早期発見及び前がん状態の発見に寄与した。				
						○今後も効果的な受診勧奨を検討し、総合検診及びがん検診の受診者の増加を目指すとともに、がん検診等精密検査未受診者への個別受診勧奨を継続し、疾病の早期発見、早期治療につながるよう努める必要がある。				
				※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上						
				※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上						

※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上

※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	7,019千円		7,390千円	371千円	94.9 %		課
	目	05 予防費					(参考)当初予算額		
	事業	02 感染症予防対策事業					14,855千円		
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	繰入金 新型コロナウイルス感染症支え合い基金繰入金 6,000千円					
目的	新型コロナウイルス感染症対策として、必要な環境を整え、感染防止を図る。								
主要な事務・事業の概要	施設の玄関（出入口）や受付窓口等に手指消毒液やパーテーションを設置するなど、感染症対策を実施した。また、公共施設等の消毒用次亜塩素酸水を生成し配送した。 ○感染症対策事業 4,259千円 ・消耗品費 4,259千円 （サージカルマスク、手指消毒液、ハンドソープ、ペーパータオル、パーテーション等） ○次亜塩素酸水生成事業 2,551千円 ・消耗品費（次亜塩素酸水生成用原液等） 94千円 ・燃料費（配送用公用車ガソリン代） 223千円 ・修繕料（車検整備代） 75千円 ・保険料（自賠責保険料、自動車損害保険料） 13千円 ・委託料（生成、配送及び生成装置保守点検業務） 2,146千円			○広報・周知事業 169千円 ・印刷製本費（5類移行チラシ：17,000部） 112千円 ・新聞折込手数料 57千円 ○感染症対策事業 40千円 ・通信運搬費（市民生活相談窓口フリーダイヤル電話代） 40千円					
				成果・課題	○公共施設等に消毒用次亜塩素酸水を配送すると共に、感染症対策物品を購入する等、感染防止対策事業を実施することにより、利用者及び職員の安全・安心を確保しながら業務を継続することができた。 ○R5年5月に5類感染症に移行したが、重症化リスクの高い市民への対応等も考慮し、R5年度中は従来の感染対策を引き続き実施した。R6年度以降は、インフルエンザと同様の感染対策を行う。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 保健衛生費	179,437千円		181,066千円	1,629千円	99.1 %		課	健康推進課																	
	目	05 予防費																									
	事業	03 新型コロナウイルスワクチン接種事業																									
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国負	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金（10/10）				78,324千円																		
目的	新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種を実施し、重症化防止及び感染防止を図る。			国補	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金（10/10）				28,925千円																		
				諸収入	市外在住者新型コロナウイルスワクチン接種費用負担金滞納繰越分				5千円																		
主要な事務・事業の概要	○個別接種		85,464千円		＜ワクチン接種の状況＞ ■接種体制及び実績（R6.3月末時点）																						
	・接種委託料		78,324千円																								
	・新型コロナウイルスワクチン個別接種促進謝金		7,140千円																								
	○コールセンター（会計年度任用職員5人）		9,887千円		<table><tr><td></td><td>春開始接種</td><td>秋開始接種</td></tr><tr><td>期 間</td><td>R5.5.8～9.19</td><td>R5.9.20～R6.3.31</td></tr><tr><td>対 象</td><td>65歳以上の者、重症化リスクの高い者、医療従事者等</td><td>生後6か月以上の全ての者</td></tr><tr><td>回 数</td><td>1回</td><td>1回</td></tr><tr><td>接種数</td><td>13,646人 （うち65歳以上：11,883人）</td><td>17,464人 （うち65歳以上：12,101人）</td></tr><tr><td>接種率</td><td>26.6% （うち65歳以上：62.1%）</td><td>34.5% （うち65歳以上：63.5%）</td></tr></table>						春開始接種	秋開始接種	期 間	R5.5.8～9.19	R5.9.20～R6.3.31	対 象	65歳以上の者、重症化リスクの高い者、医療従事者等	生後6か月以上の全ての者	回 数	1回	1回	接種数	13,646人 （うち65歳以上：11,883人）	17,464人 （うち65歳以上：12,101人）	接種率	26.6% （うち65歳以上：62.1%）	34.5% （うち65歳以上：63.5%）
		春開始接種	秋開始接種																								
	期 間	R5.5.8～9.19	R5.9.20～R6.3.31																								
	対 象	65歳以上の者、重症化リスクの高い者、医療従事者等	生後6か月以上の全ての者																								
	回 数	1回	1回																								
	接種数	13,646人 （うち65歳以上：11,883人）	17,464人 （うち65歳以上：12,101人）																								
	接種率	26.6% （うち65歳以上：62.1%）	34.5% （うち65歳以上：63.5%）																								
○Web接種予約システム（システム改修及びシステム利用料）		3,263千円																									
○接種券等郵送関連		6,554千円																									
○新聞折込チラシ経費（3回）		1,057千円																									
○接種料支払事務代行手数料（国保連）		222千円																									
○職員時間外勤務手当		225千円																									
○その他消耗品費		577千円																									
○過年度国庫支出金返還金		72,188千円																									
・令和3年度新型コロナウイルス接種対策費負担金		6,585千円		成果・課題	○令和5年度春及び秋開始接種について、市内で円滑に実施することができ、全体では3割前後の接種率だったが、65歳以上の高齢者の接種率は約6割といずれも全国、京都府と比較し高い接種率となった。 ○令和6年度は65歳以上の高齢者等を対象とした定期接種となるが、今後のワクチン接種の在り方等について、国の動向を注視し、迅速に対応する必要がある。																						
・令和4年度新型コロナウイルス接種対策費負担金		55,248千円																									
・新型コロナウイルス接種対策確保事業費補助金		10,355千円																									
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	179,636千円																									
	実質的な予算執行率	99.9%																									
■令和6年度への繰越事業																											
・新型コロナウイルスワクチン接種事業（令和6年6月完了）		1,430千円																									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 商工費	6,285千円		6,411千円	126千円	98.0 %		
	目	01 商工総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	02 消費生活推進事業					6,552千円		
基本計画		11 防犯・交通安全対策の推進		府補	消費者行政活性化事業費補助金（人件費定額、1/2）				3,454千円
目的	消費生活相談員を配置し、情報化社会の進展、在宅やオンライン利用時間の拡大により、巧妙化、増加する消費者トラブルや多重債務等の相談に対し、弁護士等の専門家と連携して助言やあっせんなどの対応を行う。また、消費生活学習グループの地域見守り活動を支援し連携することで、トラブルの未然防止と早期解決を図るとともに、啓発活動や消費者教育を推進する。				主な財源				
主要な事務・事業の概要	○消費生活相談事業 6,025千円 消費生活専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。 【相談受付件数】 305件（販売購入：201件、その他：104件） 【出前講座実績】 36回（参加835人） うち児童への消費者教育 11回（参加338人） ・会計年度任用職員任用経費（消費生活相談員2人） 5,541千円 報酬 3,778千円 期末手当 761千円 社会保険料、雇用保険料、共済負担金 766千円 費用弁償（通勤費） 236千円 ・報償費（出演謝金、啓発寸劇） 67千円 ・研修旅費等 68千円 ・電話通信料、テレビ受信料 100千円 ・公用車維持管理費（燃料費、修繕費、保険料等） 164千円 ・啓発物品・チラシ作成、事務用品等購入費 85千円				○消費生活学習グループ活動費補助金 260千円 【会員数（令和6年3月31日現在）】 78人 峰山16人、大宮17人、網野7人、丹後13人、弥栄11人、久美浜14人 【活動内容】 ・各支部啓発活動（90回） 峰山15回、大宮15回、網野14回、丹後15回、弥栄17回、久美浜14回 ・消費生活学習会、視察研修等の実施 ※各支部ごとに実施 ・クリーン活動（9回） 峰山1回、大宮2回、網野1回、丹後2回、弥栄1回、久美浜 2回				
	成果・課題	○専門相談員が、出前講座や久美浜有線放送等を活用した情報提供の機会を多く作り、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。 ○情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、市民の消費トラブルに対する知識と意識を高めることができた。							

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																																												
	項	01 総務管理費	147,449千円		147,449千円	0千円	100.0 %																																														
	目	17 諸費					(参考)当初予算額	課	商工振興課																																												
	事業	07 原油価格・物価高騰対策支援給付金給付事業【再掲】					0千円																																														
基本計画		01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 147,400千円																																																
目的	新型コロナウイルス感染症及び国際情勢等に起因する急激な原油価格の高騰を受け、厳しい経営状況にある市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定を図る。																																																				
主要な事務・事業の概要	○エネルギー価格高騰対策支援給付金 147,449千円			【交付内訳】																																																	
	【対象経費】 事業の用に供する光熱費 (電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油及び混合油)			<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">全体</td><td colspan="2">内運輸車両等燃料費対策分</td></tr><tr><td>交付件数</td><td>交付額</td><td>交付件数</td><td>交付額</td></tr><tr><td>商工振興課</td><td>1,091件</td><td>119,251千円</td><td>22件</td><td>10,049千円</td></tr><tr><td>障害者福祉課</td><td>18件</td><td>2,993千円</td><td>15件</td><td>1,715千円</td></tr><tr><td>長寿福祉課</td><td>69件</td><td>14,593千円</td><td>47件</td><td>3,902千円</td></tr><tr><td>農業振興課</td><td>206件</td><td>9,254千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>農林整備課</td><td>3件</td><td>800千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>海業水産課</td><td>8件</td><td>558千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>計</td><td>1,395件</td><td>147,449千円</td><td>84件</td><td>15,666千円</td></tr></table>							全体		内運輸車両等燃料費対策分		交付件数	交付額	交付件数	交付額	商工振興課	1,091件	119,251千円	22件	10,049千円	障害者福祉課	18件	2,993千円	15件	1,715千円	長寿福祉課	69件	14,593千円	47件	3,902千円	農業振興課	206件	9,254千円	0件	0千円	農林整備課	3件	800千円	0件	0千円	海業水産課	8件	558千円	0件	0千円	計	1,395件	147,449千円	84件	15,666千円
		全体		内運輸車両等燃料費対策分																																																	
		交付件数	交付額	交付件数	交付額																																																
	商工振興課	1,091件	119,251千円	22件	10,049千円																																																
障害者福祉課	18件	2,993千円	15件	1,715千円																																																	
長寿福祉課	69件	14,593千円	47件	3,902千円																																																	
農業振興課	206件	9,254千円	0件	0千円																																																	
農林整備課	3件	800千円	0件	0千円																																																	
海業水産課	8件	558千円	0件	0千円																																																	
計	1,395件	147,449千円	84件	15,666千円																																																	
【対象者】 市内に事業所等を有する個人・法人（農林漁業者含む）			成果・課題																																																		
【対象期間】 令和5年4月～令和6年1月																																																					
【受付期間】 令和5年8月～令和6年3月																																																					
【給付率等】																																																					
(1) 事業所光熱費対策分																																																					
・ 対象期間に支払った光熱費のうち任意に選択した5か月分の合計額の10%を交付																																																					
・ 限度額：法人等：500千円、個人事業主等：300千円																																																					
(2) 運輸車両等燃料費対策分																																																					
・ 対象期間に支払った運輸車両の運行に要した燃料費の15%を交付																																																					
・ 車両1台当たり限度額：普通自動車／45千円、小型自動車／38千円、軽自動車／8千円																																																					

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部		
	項	01 保健衛生費	3,742千円		4,086千円	344千円	91.5 %				
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額	課	保険事業課		
	事業	02 高齢者ﾌﾙﾌﾞ予防事業【再掲】					5,824千円				
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実	主な財源	諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金				1,387千円		
				諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金				2,166千円		
目的		国保データベースシステム等のデータを活用するとともに、保健師や管理栄養士など医療専門職が事業のコーディネートを行うことにより、75歳以上の方の健康課題を明確化させ効果的なフレイル予防を行うことで健康寿命を延伸し、介護予防につなげる。 また、歯科健診を実施し、口腔機能の低下や肺炎などの疾病を予防する。									
主要な事務・事業の概要	京都府後期高齢者医療広域連合の委託を受けて取り組む 「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」事業。				【所管：保険事業課】					2,346千円	
					○国保データベースシステム関連経費					463千円	
					・データ管理手数料						
	【所管：健康推進課】				1,396千円					○後期高齢者歯科健診経費	1,883千円
	＜個別支援＞（ハイリスクアプローチ）				令和6年3月末までに76～79歳になられる方を対象に、市内協力歯科機関で歯・歯肉の状態や口腔機能状態等をチェック						
					実施期間：令和5年7月～令和6年1月末						
					対象者：2,814人 受診者：318人						
					・需用費（消耗品費、印刷製本費）					104千円	
					・通信運搬費					208千円	
					・後期高齢者歯科健診委託料					1,571千円	
成果・課題					○重症化予防（高血圧・高血糖）対策は、国保から後期高齢者医療制度に移行しても切れ目のない支援を行い、訪問等による個別支援を行うことで対象者の約6割が受診につながった。 ○低栄養者や健康状態不明者へ訪問を中心とした個別アプローチにより、健康状態を把握し必要な支援につなげることができた。 ○高齢者サロン等の集団の場でフレイル予防の取組と普及啓発を実施しているが、サロン等がない地域での取組が課題である。 ○歯科健診により口腔機能の低下や肺炎等の疾病予防に寄与した。						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率		部	こども部
	項	01 保健衛生費	145,866千円		147,666千円	1,800千円	98.7 %			
	目	05 予防費					(参考)当初予算額			
	事業	01 予防接種事業【再掲】					195,737千円		課	子育て支援課
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国負	予防接種健康被害給付費負担金		671千円		
目的		伝染のおそれがある疾病の発生及び感染予防、発病予防、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。	国補		感染症予防事業費等補助金（1/2）		1,672千円			
			府補		風しん予防接種事業補助金（1/2）		83千円			
			繰入金		ふるさと応援基金繰入金		90,000千円			
			繰入金		再編交付金事業基金繰入金		3,500千円			
			諸収入		京都府後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業費補助金		2,000千円			
主要な事務・事業の概要	【所管課：健康推進課】		50,698千円		【所管課：子育て支援課】		95,168千円			
	○事務経費（需用費、役務費等）		1,172千円		○事務経費（需用費、役務費等）		683千円			
	○個別予防接種・検査委託料		48,631千円		○個別予防接種・検査委託料		93,146千円			
	○予防接種助成金等給付費等		224千円		○予防接種助成金等給付費		1,339千円			
	○予防接種健康被害給付金		671千円		■子どもの予防接種（対象数、接種数は延べ。□タのみ実人数）（単位：人）					
	■高齢者インフルエンザ予防接種事業		42,336千円							
	・自己負担：1,500円（生活保護世帯・非課税世帯は申請により自己負担なし）									
	・対象者：65歳以上、60～64歳の障害者									
	・接種数：10,649人/対象数：19,136人 接種率：55.6%									
	■高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業		6,330千円							
	・自己負担：2,000円（生活保護世帯・後期高齢者被保険者は自己負担なし）									
	・対象者：定期：65歳以上5歳刻み年齢、100歳以上、60～64歳の障害者									
・接種数：856人/対象数：9,296人 接種率：9.2%										
■風しん追加的対策（実施期間：R元年度～R6年度）		1,361千円								
		対象数	接種数	検査率	要接種率					
風しん抗体検査		4,467人	92人	2.1%	38.0%					
風しん第5期予防接種		35人	32人	91.4%						
成果・課題	○予防接種法に基づく予防接種であり、接種勧奨を繰り返すことで適正な時期の接種につなげることができた。 ○乳幼児期に接種する予防接種の種類の増加に伴い、接種スケジュールが複雑・煩雑になっているため、引き続き保護者への丁寧な指導・啓発に努めるとともに、医療機関との情報提供・連携を継続的に行い、適正な接種の実施に努める必要がある。									